

消 防 年 報

平成 2 1 年度版



小 豆 地 区 消 防 本 部
(平成 2 2 年刊行)

は し が き

1. この年報は、平成21年中における小豆地区消防本部の業務に関する諸般の事項についてその実態を収録し、広く一般に紹介するとともに将来の消防防災活動の資料とするため作成しました。
2. この統計中、予算関係事項については会計年度とし、その他の事項については暦年としました。

平成22年9月

小豆地区消防本部

目 次

総 務

1.	位置及び自然的条件	1
2.	管内図と消防本部・署の位置	2
3.	小豆郡内常備消防の沿革	3
4.	消防の沿革（組合）	4～13
5.	主たる総務行事	14
6.	歴代消防長	15
7.	歴代消防署長	15
8.	消防の組織・機構	16
9.	事務分掌	17～18
10.	管内面積及び人口・世帯数	18
11.	消防庁舎の現状	19
12.	職員の勤務年数	19
13.	職員の年齢	20
14.	職員の配置状況	20
15.	消防力の現勢	21
16.	消防職員・消防車等に対する人口及び世帯数の割合	21
17.	消防予算	22
18.	平成22年度町別一般会計予算と消防予算	22
19.	消防費基準財政需要額及び町負担金	22
20.	職員特殊技能資格取得状況	23
21.	職員諸手当調	24
22.	職員教養状況調	24
23.	職員居住地調	25
24.	職員任用退職状況調	25
25.	職員の推移	26

予 防

1.	主たる予防行事	27
2.	防火優良認定交付対象物状況	27
3.	自主防災組織の現況	27～28
4.	防火対象物現況	29
5.	防火管理者選任届状況	30
6.	建築同意事務処理状況	31～32
7.	危険物施設の現況	33
8.	危険物施設の許認可状況	33
9.	各種届出事務処理状況	34
10.	広報・広聴実施状況	34
11.	中高層建築物（4階以上）の現況	35

警 防

1. 主たる警防行事	37
2. 消防車両等配置状況	38
3. 主な機械器具の配置状況	39～40
4. 消火薬剤の備蓄状況	40
5. 消防水利の現況	41
6. 警防関係届出事務処理状況	41
7. 災害別出動状況	41
8. 救急法指導状況	42～43

通信指令室

1. 消防通信系統図	45
2. 通信施設状況	46～47
3. 119番受信状況	48
4. 気象状況（観測地 消防本部）	48
5. 気象情報受理状況	49

火 災 統 計

1. 火災発生状況	51
2. 時間別火災状況	52
3. 月・曜日別火災状況	52
4. 覚知別火災状況	53
5. 原因別火災状況	53
6. 建物火災用途別火災状況	53
7. 過去10ヶ年の火災状況	54

救 急 統 計

1. 事故別救急出動状況	55
2. 覚知別救急出動状況	55
3. 医療機関等収容可能状況照会回数	55
4. 時間別救急出動状況	56
5. 曜日別救急出動件数	56
6. 救急隊員の行った応急処置件数	56
7. 現場到着所要時間別出動状況	57
8. 収容所要時間別搬送人員	57
9. 年齢区分別搬送人員	57

10. 発生場所別搬送人員	58
11. 管轄外転院搬送件数	58
12. 傷病程度別搬送人員	58
13. 小豆2町、年別救急出動状況	59
14. 過去10ヶ年の主な救急出動状況	59

消 防 団

1. 2町消防団現勢分布図	61
2. 消防団の組織・機構	62
3. 消防団員の勤務年数及び年齢	63
4. 消防団員数及び装備状況	63～64
5. 町別消防車両等種別現況	64～65
6. 消防団員報酬調	65
7. 消防団員諸手当調	65

総務



総 務

1. 位置及び自然的条件

小豆島は、香川県の北東部に位置し、瀬戸大橋と鳴門大橋が展望でき、瀬戸内海では淡路島に次いで大きな島であり、土庄町、小豆島町の2町で構成されている。

地形は、全島ほとんどが花崗岩を基盤とする山地で、平坦地は主として、南に向けて開けており、東西及び北に面する地域は、山が急斜面をなして海中に入り、極めて小さな平坦地が点在する。

奇峰の多い山岳地形の中には、瀬戸内海地域における最高峰817mの星ヶ城山を有し、また、海岸線はリアス式海岸特有の美しい曲線を描いており、小豆島は、瀬戸内海国立公園「寒霞溪」をはじめ豊かな観光資源に恵まれている。

気候は、四季を通じて温和な気候に恵まれ、全国でも名を高めている醤油、佃煮、手延そうめん等の製造及び電照菊の栽培が盛んであり、中でも県花、県木となっているオリーブの栽培に適し南国情緒豊かな島である。



3. 小豆郡内常備消防の沿革

内 海 町

昭和 37 年 4 月	内海町消防団常備部を新設し、常勤消防団員 3 名採用する。
6 月	常勤消防団員 1 名内海町へ。
10 月	常勤消防団員 2 名採用、初動態勢の確立を期し常備消防業務を開始する。 夜間は常勤消防団員 2 名、非常勤消防団員 3 名にて当直を実施し初動態勢の強化を図った。(昭和 38 年 3 月まで実施)
昭和 38 年 4 月	常勤消防団員 3 名採用、常勤消防団員 7 名となる。
7 月	消防庁舎を安田甲 1 4 4 の 9 0 (町役場敷地内) に新築する。
10 月	常勤消防団員 1 名増員 (内海町より) 常勤消防団員 8 名となる。
昭和 41 年 8 月	常勤消防団員 1 名退職し、1 名採用する。
昭和 45 年 3 月	常勤消防団員 1 名退職、常勤消防団員 7 名となる。
4 月	内海町消防団常備部を廃止し、内海町消防本部を新設する。職員 3 名採用、職員 1 0 名となり、災害早期覚知、早期出動及び予防行政の強化を期し、その任にあたる。

土 庄 町

昭和 38 年 4 月	高層大型化する町内旅館群等の急増から予防行政の強化を期し、町役場内に土庄町消防本部を新設、職員 4 名にてその任にあたる。夜間当直 1 名。
10 月	消防本部内に兼務消防隊 (役場職員 1 2 名) を設置し、初動態勢の強化を図った。
昭和 39 年 4 月	消防本部を土庄町甲 6 1 2 (土庄分団屯所内) へ移転する。 職員 3 名を採用し、専任職員 7 名となる。
昭和 41 年 4 月	職員 1 名土庄町へ、職員 1 名採用する。
10 月	レンジャー訓練を開始する。
昭和 42 年 6 月	職員 3 名を採用し、専任職員 1 0 名となる。
11 月	専任職員 2 名を編成して旅館群、病院等の夜間パトロールを開始。 (本年より毎年火災多発期の 1 1 月～ 3 月実施) 夜間当直 2 名。
昭和 43 年 4 月	政令指定により消防本部内に土庄消防署を設置する。
6 月	職員 3 名増員 (土庄町より) 専任職員 1 3 名となる。 消防本部・署を土庄町甲 5 6 1 (旧土庄中学校) へ移転する。
昭和 44 年 4 月	職員 4 名採用し専任職員 1 7 名となる。
10 月	消防署の編成を 1 車隊 6 名とし、隔日勤務体制を敷く。
昭和 45 年 2 月	消防本部・署を土庄町湊崎甲 2 0 4 4 (旧土地改良事務所) へ移転する。
4 月	女子職員 1 名増員 (土庄町より) 職員 1 8 名となる。
昭和 46 年 7 月	職員 1 名増員 (土庄町より) 職員 1 9 名となる。
昭和 47 年 3 月	職員 2 名土庄町へ、職員 1 7 名となる。

消防組合設立への機運

昭和45年1月12日池田町内の2カ所から同時に出火した林野火災は延々3日間にわたり燃え続け、1月14日 延べ524haを焼失し鎮火となった。全国史上9番目の大火となったが、この火災を教訓に島内消防力の強化と指揮権の一本化、効率的な運用が叫ばれ、消防組合設立への機運が本格化したものである。

4. 消防の沿革（組合）

昭和46年7月	小豆3町広域消防促進協議会を設置、会長に大森土庄町長、副会長に川北内海町長、佐々木池田町長を選出。 構成メンバー（3町町長、3町議長、3町総務課長、3町消防団長、土庄町消防本部消防長）
9月	広域消防整備計画案を決定、各町議会において、小豆地区消防組合規約が議決される。
10月	広域消防組合政令指定を希望する旨、消防庁に申請する。
11月	香川県知事より一部事務組合の発足について許可される。
12月	土庄町消防本部にて、小豆地区消防組合職員の採用試験が実施される。
昭和47年3月	小豆3町広域消防促進協議会を解散する。
4月	小豆地区消防組合発足、事務所を旧土庄町消防本部に置く。 初代管理者に内海町長川北四十二氏が就任。 初代消防長及び消防署長に清水勝氏が任命される。 消防職員16名採用、内海町より1名、池田町より1名、職員総数45名となる。
5月	消防職員1名、事務職員（女）1名採用、職員総数47名となる。
6月	消防本部、消防署合同庁舎の建設工事に着手する。消防職員1名内海町へ、職員総数46名となる。
7月	消防署池田分署庁舎の建設工事に着手する。消防署内海分署へ消防本部より職員1名配置し、11名となる。
9月	消防署内海分署庁舎の建設工事に着手する。
10月	救急車（トヨタハイエース2B型）を購入し、消防署において救急業務を開始する。同時に救急要員6名を増員、消防署員数21名となる。
12月	消防ポンプ車（ニッサンFH60型）2台購入、消防署及び内海分署に配置する。
昭和48年1月	消防本部・消防署合同庁舎落成し、（土庄町甲557-4）移転する。 消防署池田分署庁舎落成し（池田町大字池田2099-4）業務を開始する。 分署署員数 2名 消防ポンプ車 1台
3月	消防署と内海分署に無線基地局を設置、移動局4基、携帯局4基とあわせて業務を開始する。 日本損害保険協会より土庄町が消防ポンプ車（トヨタFJ55V）の寄贈を受

	け小豆地区消防組合へ移管し消防署へ配置する。(旧ポンプ車は池田分署へ配置する。) 消防職員1名退職、職員総数45名となる。
4月	「消防本部及び消防署を設置しなければならない町村」として政令指定を受け消防職員17名を採用、職員総数62名となる。池田分署へ3名増員し、分署署員5名となり、夜間は通信員1名常駐する。 内海分署庁舎落成し(内海町安田甲144-90)移転する。
5月	消防職員1名土庄町へ、職員総数61名となる。
7月	消防職員1名退職し、職員総数60名となる。
8月	内海分署へ2名増員し、分署署員数13名となる。 消防職員1名退職し、職員総数59名となる。
9月	無線移動局3基、携帯局5基を増設し、消防署と各分署へ配置する。
11月	消防署へ消防救急指令装置(NEC、FD201型)を設置し、運用を開始する。
昭和49年1月	池田分署へ6名増員し、分署署員数11名となり隔日勤務体制をとる。
3月	消防職員2名土庄町へ、1名内海町へ転出し、職員総数56名となる。
4月	第二代消防署長に役重正則氏が昇任される。消防職員6名採用、職員総数62名となる。 内海分署へ救急車(トヨタハイエース2B型)を配置するとともに6名を増員しポンプ車隊、救急車隊の2隊編成をとり分署署員数19名となる。池田分署へ2名増員し、分署署員数13名となる。
5月	内海分署において、救急業務を開始する。
7月	消防本部へ査察広報車(トヨタカローラバン)を配置する。旧車は池田分署へ配置する。 7月6日、台風8号による集中豪雨で内海町全域にわたり山津波が発生、橋地区を中心に死者29名、重軽傷者42名、家屋全半壊128戸を出す大惨事となる。 大雨警報、洪水注意報発令と同時に災害活動及び救出、救助活動にあたる。
8月	内海分署、消防ポンプ車老朽のため、消防ポンプ車(ニッサンFH60型)を購入配置する。
昭和50年3月	初代消防長清水勝氏及び職員1名退職し、職員総数60名となる。 無線移動局1基、携帯局5基を増設する。
4月	消防職員2名採用、職員総数62名となる。
6月	第二代消防長に内海町役場課長であった坂本傳氏が任命され、職員総数63名となる。
7月	池田分署へ消防ポンプ車(ニッサンFH60型)を購入配置する。旧車は内海分署へ移管する。
9月	無線移動局2基、携帯局1基を増設する。小豆島防火協会が設立される。
11月	消防本部の事務機構を改革し、総務、予防、警防の3課制をとる。
昭和51年3月	消防職員2名退職し、職員総数61名となる。
4月	消防職員3名採用、職員総数64名となる。

9月 防災工作車（トヨタハイエースWキャブ）を2台購入、内海分署、池田分署へ配置し、旧車は廃車する。

台風17号により、9月8日から9月13日までに小豆島全域にわたり、わずか6日間で年間降雨量を超える1,400ミリ（11日～12日で800ミリ）という記録的な豪雨となり、瞬時にして39名もの尊い生命を奪うという大惨事となった。

史上空前ともいわれる集中豪雨による大雨洪水警報発令と同時に全署員を動員し、警戒、防ぎよ、資材の運搬等にあたる。しかし、9月12日になり島内随所で被害が続出したため、消防職団員一致団結し、避難誘導、行方不明者の捜索、負傷者、遺体の搬送、給水作業等に延々12日間連続出動する。

延出動職員数 739名 延出動車両台数 75台

被害の概要

死者	39名	重軽傷者	81名	被災世帯	2,665世帯
全壊家屋	209戸	半壊家屋	268戸	床上浸水	2,149戸
床下浸水	2,942戸				

11月 消防職員1名退職、職員総数63名となる。無線移動局1基、携帯局3基を増設する。

昭和52年1月 臨時事務職員1名採用。

3月 無線携帯局3基を増設する。

4月 消防職員1名池田町へ、職員総数62名となる。

6月 第二代消防長坂本傳氏内海町へ。消防長事務取扱に内海町長川北四十二氏が任命され、職員総数61名となる。

昭和53年3月 初代管理者、内海町長川北四十二氏退任。

4月 第二代管理者に土庄町長山脇利一氏が就任、次長として土庄町役場主幹であった洲本勝氏が任命される。消防職員4名採用、職員総数66名となる。

5月 土庄町大部琴塚に、無線の不感地区解消のため無線中継局を新設する。

7月 異常渇水のため、全島において水不足となり、井戸、池等の水が減水、又水道断水、時間給水が続き、54年2月中旬から全面給水となった。

8月 異常渇水対策として、日勤者を隊へ編入し、初動態勢の強化を図る。（10月中旬まで実施する。）内海分署へ2名増員し、分署署員数21名となる。

9月 日本消防協会より、救急車（トヨタハイエース2B型）の寄贈を受け、本署へ配置する。

昭和54年3月 内海町福田に無線の不感地区解消のため無線中継局を新設する。

7月 小型動力ポンプ（ラビット可搬式）を購入し、内海分署へ配置する。

10月 油火災用ユニット式ポンププロポーション1式を2基購入し、本署と内海分署へ配置する。

11月 小豆地区少年婦人防火委員会が設立される。

12月	土庄町内に原因不明の林野火災が続いたため、土庄町前島及び四海地区のパトロールを開始する。
昭和55年3月	消防職員1名、臨時事務職員1名退職し、職員総数65名となる。
4月	第四代消防長に消防次長であった洲本勝氏が昇任。消防職員3名採用、職員総数68名となる。
6月	小型動力ポンプ（ラビット可搬式）2台を購入し、本署と池田分署へ配置。
8月	消防他3つの一部事務組合を統合して小豆地区広域行政事務組合が新たに発足、これに伴い小豆地区消防組合は解散。組合管理者には、内海町長川北四十二氏が就任。事務所を小豆島老人ホームに置く。小豆地区消防本部と改称し、事務職員1名小豆地区広域行政事務組合へ。職員総数67名となる。
10月	油火災用ユニット式ポンププロポーションナー1式を購入し池田分署へ配置。
11月	油火災用特殊防火衣を2着購入し、本署へ配置する。
	日本自動車工業会より救急車（トヨタハイエース2B型）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。旧救急2号車は本署へ配置し予備車とする。
昭和56年4月	第二代消防署長、役重正則氏退職。消防職員1名採用、職員総数67名となる。
5月	第三代消防署長に副署長であった谷元哲彦氏昇任。
9月	救助用器材（エアツールセット）1式を購入し、本署へ配置する。
昭和57年3月	消防ポンプ車（いすゞCD-I）1台を購入し、本署へ配置する。
	旧消防ポンプ1号車は林野工作車に改造して本署へ配置する。
	日本損害保険協会より、救急車（日産キャラバンB-2）の寄贈を受け本署へ配置する。救急3号車は内海分署へ配置し救急予備車とする。
4月	消防職員2名採用、職員総数69名となる。
5月	救助用器材（エアツールセット）1式を購入し、内海分署へ配置する。
6月	香川県共済農業協同組合連合会より救急車（トヨタハイエース2B型）の寄贈を受け、本署へ配置する。
10月	消防職員1名小豆島老人ホームへ、職員総数68名となる。
昭和58年3月	第二管理者、土庄町長山脇利一氏退任。
4月	第三管理者に池田町長佐々木武雄氏就任。
8月	日本消防協会より、救助資器材搬送車（日産アトラス）の寄贈を受け本署へ配置する。
昭和59年3月	第四代消防長、洲本勝氏土庄町へ。
	消防署に設置の救急指令装置（D-201E）更新する。
	消防職員一名退職、職員総数66名となる。
4月	第三管理者、池田町長佐々木武雄氏退任。第四管理者に池田町長八木壮一郎氏就任。第五代消防長に、消防次長であった谷元哲彦氏が昇任、消防職員1名採用、職員総数67名となる。
8月	救助用器材（エアツールセット）1式を購入し、池田分署へ配置する。
11月	第8回婦人防火全国大会に於いて、日本防火協会より防火広報車（日産キャラバン）の寄贈を受ける。

昭和 60 年 3 月	第四代管理者、池田町長八木壮一郎氏退任。				
4 月	第五代管理者に内海町長川西寿一氏就任。				
7 月	小型ポンプ（ラビット可搬式）を購入し、本署へ配置する。				
9 月	日本損害保険協会より消防ポンプ車（日産サファリ A-I）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。旧車は内海町へ移管する。				
昭和 61 年 3 月	内海分署無線基地局老朽のため更新する。				
	第五代消防長兼消防署長であった谷元哲彦氏退職。職員総数 66 名となる。				
4 月	第六代消防長事務取扱に池田町長八木壮一郎氏が任命され、次長として池田町役場主幹であった大谷隆生氏が任命される。第四代消防署長に副署長であった中黒輝雄氏が昇任。消防職員 1 名採用、職員総数 68 名となる。				
8 月	8 月 28 日、香川県下に強風波浪注意報発令中、土庄町豊島地区において交通事故（車両衝突）が発生、車両が炎上し強風にあおられて林野に延焼し、火面は急速に拡大する。土庄町長、消防長の陣頭指揮により隣接消防団、自衛隊等の応援を求め消防職団員一致協力し、9 月 4 日 17 時 128 ha を焼失し、鎮火する。				
	被害状況	焼損面積	128 ha	損害額	7,550 万円
		死者	1 名	負傷者	7 名
	出動人員（延）	出動車両等（延）			
	小豆地区消防本部	275 名	消防ポンプ自動車	77 台	
	土庄町消防団	1,772 名	小型動力ポンプ付積載車	72 台	
	池田町消防団（応援）	228 名	その他の車両	61 台	
	内海町消防団（応援）	294 名	偵察用ヘリコプター	3 機	
	高松市消防局（応援）	213 名	空中消火用ヘリコプター	8 機	
	神戸市消防局（応援）	5 名			
	陸上自衛隊（応援）	112 名			
	合計	2,899 名			
10 月	異常渇水のため、全島において水不足となり水道が時間給水のため住民への火災予防啓発と出動体制の強化を図る。（62 年 2 月まで）				
12 月	香川県消防相互応援協定締結 （香川県下 5 市、38 町、6 消防組合）				
昭和 62 年 2 月	消防ポンプ自動車（三菱 CD-I）を購入し、池田分署へ配置する。				
3 月	第五代管理者、内海町長川西寿一氏退任。				
4 月	第六代管理者に土庄町長山脇利一氏就任。				
5 月	消防本部へ河川情報システムを設置し、運用を開始する。				
6 月	査察広報車（日産ブルーバード）を購入、本署へ配置する。				
昭和 63 年 3 月	第六代消防長事務取扱者、池田町長八木壮一郎氏退任。				
4 月	第七代消防長に消防次長であった大谷隆生氏が昇任。消防職員 1 名採用、職員総数 69 名となる。				

8月	日本消防協会より防災工作車（トヨタハイエース）の寄贈を受け本署へ配置する。
11月	消防本部へ管轄区域内の119番を統合し、運用を開始する。
12月	高圧ポンプ付消防ポンプ自動車（三菱CD-I）を購入し、本署へ配置する。
平成元年3月	第六代管理者、土庄町長山脇利一氏退任。消防職員の高齢化対策として2名退職し、関係町で採用され、職員総数67名となる。
4月	第七代管理者に池田町長八木壮一郎氏就任。消防職員3名採用、職員総数70名となる。
5月	消防職員1名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向、職員総数69名となる。
9月	防災工作車を2台購入、内海分署（トヨタトヨエースWキャブ）、池田分署（トヨタダイナWキャブ）へそれぞれ配置する。
10月	消防職員1名退職、職員総数68名となる。
平成2年2月	香川県共済農業協同組合連合会より救急車（トヨタハイエース2B型）の寄贈を受け、内海分署へ配置し、旧車は廃車にする。
3月	消防本部の庁舎に非常電源装置を設置する。 消防職員の高齢化対策として1名退職し、関係町で採用され、職員総数67名となる。
4月	消防職員2名採用、1名退職し、職員総数68名となる。
6月	救助用機材（リフトバック）1式を購入し、本署へ配置する。
12月	指揮車（トヨタハイエースバン）を購入し、本署へ配置する。
平成3年2月	本署の林野工作車（49年式日産FH60型）を廃車にする。
3月	第七代管理者、池田町長八木壮一郎氏退任。消防職員の高齢化対策として1名退職し、関係町で採用され、職員総数67名となる。
4月	第八代管理者に内海町長川西寿一氏就任。消防職員3名採用、1名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向し、職員総数69名となる。
8月	高圧ポンプ付消防ポンプ自動車（三菱CD-I）を購入し、内海分署へ配置する。
平成4年3月	日本自動車工業会より救急車（日産キャラバン2B型）の寄贈を受け、本署へ配置し、1号救急車は内海分署へ移管する。消防職員の高齢化対策として1名退職し、関係町で採用され、職員総数68名となる。
4月	消防職員2名採用、職員総数70名となる。
平成5年3月	第八代管理者、内海町長川西寿一氏退任。第七代消防長、大谷隆生氏池田町へ。消防職員の高齢化対策として1名退職し、関係町で採用され、職員総数68名となる。
4月	第九代管理者に土庄町長塩本淳平氏就任。第八代消防長に消防署長であった中黒輝雄氏が昇任。第五代消防署長に総務課長であった前田忠氏が昇任。 消防職員2名採用、1名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向し、職員総数69名となる。
10月	日本消防協会より救急車（いすゞファーゴ2B型）の寄贈を受け、内海分署へ

	配置する。																																																		
12月	小型動力ポンプ付水槽車（三菱キャンター）を購入し、池田分署へ配置する。																																																		
平成6年1月	香川県防災ヘリコプター派遣職員に関する協定締結（香川県） 香川県防災航空隊へ職員1名派遣。																																																		
4月	消防職員2名採用、職員総数71名となる。 香川県防災ヘリコプター応援協定締結 （香川県、県下5市、38町、6消防組合）																																																		
5月	エアーコンプレッサーを購入し、本署へ配置する。																																																		
11月	はしご付消防自動車（森田式MLEH5-35R型）を購入し本署へ配置する。																																																		
平成7年3月	第九代管理者、土庄町長塩本淳平氏退任。																																																		
4月	第十代管理者に池田町長八木壮一郎氏就任。																																																		
6月	第八代消防長、中黒輝雄氏逝去。職員総数70名となる。																																																		
7月	第九代消防長兼署長に次長兼署長であった前田忠氏が昇任。																																																		
平成8年3月	基地局に県内共通波を設置する。																																																		
4月	第九代消防長兼署長であった前田忠氏の署長兼務を解く。第六代消防署長に内海分署長であった木村敏夫氏が昇任。消防職員2名採用、1名管理者部局（小豆島老人ホーム）から小豆地区消防本部に出向、2名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向し、職員総数71名となる。 4月9日、香川県に乾燥注意報が発令中、土庄町では異常渇水のため、16時間断水と厳しい水事情のなか、土庄町湊崎妹尾乙257番地より出火した山林火災は、急傾斜のため火面は急速に拡大し、管轄消防職員・団員はもとより隣接消防団、香川・大阪・広島・島根・京都の各消防防災ヘリ、自衛隊ヘリの応援を求め4月12日9時、47haを焼失し、鎮火する。																																																		
	<table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">出動人員（延）</td> <td style="text-align: center;">出動車両等（延）</td> </tr> <tr> <td>小豆地区消防本部</td> <td>196名</td> <td>消防ポンプ自動車</td> <td>49台</td> </tr> <tr> <td>土庄町消防団</td> <td>1,172名</td> <td>小型動力ポンプ付積載車</td> <td>109台</td> </tr> <tr> <td>池田町消防団</td> <td>300名</td> <td>自衛隊車両</td> <td>33台</td> </tr> <tr> <td>内海町消防団</td> <td>350名</td> <td>その他の車両</td> <td>73台</td> </tr> <tr> <td>高松市消防局</td> <td>9名</td> <td>消防防災ヘリ</td> <td>7機</td> </tr> <tr> <td>香川県防災航空隊</td> <td>21名</td> <td>自衛隊ヘリ</td> <td>9機</td> </tr> <tr> <td>大阪市消防局航空隊</td> <td>5名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>広島市消防航空隊</td> <td>6名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>島根県防災航空隊</td> <td>16名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>京都市消防航空隊</td> <td>6名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>陸上自衛隊</td> <td>161名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,242名</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	出動人員（延）	出動車両等（延）	小豆地区消防本部	196名	消防ポンプ自動車	49台	土庄町消防団	1,172名	小型動力ポンプ付積載車	109台	池田町消防団	300名	自衛隊車両	33台	内海町消防団	350名	その他の車両	73台	高松市消防局	9名	消防防災ヘリ	7機	香川県防災航空隊	21名	自衛隊ヘリ	9機	大阪市消防局航空隊	5名			広島市消防航空隊	6名			島根県防災航空隊	16名			京都市消防航空隊	6名			陸上自衛隊	161名			合 計	2,242名		
出動人員（延）	出動車両等（延）																																																		
小豆地区消防本部	196名	消防ポンプ自動車	49台																																																
土庄町消防団	1,172名	小型動力ポンプ付積載車	109台																																																
池田町消防団	300名	自衛隊車両	33台																																																
内海町消防団	350名	その他の車両	73台																																																
高松市消防局	9名	消防防災ヘリ	7機																																																
香川県防災航空隊	21名	自衛隊ヘリ	9機																																																
大阪市消防局航空隊	5名																																																		
広島市消防航空隊	6名																																																		
島根県防災航空隊	16名																																																		
京都市消防航空隊	6名																																																		
陸上自衛隊	161名																																																		
合 計	2,242名																																																		
平成9年3月	第十代管理者、池田町長八木壮一郎氏退任。 日本消防協会から救急車（日産キャラバン2B型）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。																																																		

4月	第十一代管理者に内海町長川西寿一氏就任。 香川県防災航空隊へ職員1名交替派遣。																																																												
5月	第十一代管理者、内海町長川西寿一氏退任。 第十二代管理者に内海町長坂下一朗氏就任。																																																												
10月	高規格救急車（トヨタグランビア）を購入し、本署へ配置する。																																																												
平成10年10月	日本損害保険協会より水槽付ポンプ自動車（三菱ファイター）の寄贈を受け本署へ配置する。																																																												
平成11年2月	携帯電話等からの119番通報転送等に関する協定締結。 （高松市消防局、大川広域消防本部、讃岐広域消防本部） 携帯電話119番転送システムを設置する。 2月14日、土庄町湊崎字東丸山甲1665番地3より出火した山林火災は、急斜面の地形により延焼拡大し3日間燃え続け、消防職員・3町消防団の消火活動に加え、香川・高知・愛媛・兵庫・広島・鳥取の各消防防災ヘリ、自衛隊ヘリの応援により、13haを焼失し、16日8時40分鎮火する。																																																												
	<table border="0"> <thead> <tr> <th colspan="2">出動人員（延）</th> <th colspan="2">出動車両（延）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小豆地区消防本部</td> <td>145名</td> <td>消防ポンプ自動車</td> <td>35台</td> </tr> <tr> <td>土庄町消防団</td> <td>717名</td> <td>小型動力ポンプ付積載車</td> <td>87台</td> </tr> <tr> <td>池田町消防団</td> <td>110名</td> <td>自衛隊車両</td> <td>6台</td> </tr> <tr> <td>内海町消防団</td> <td>100名</td> <td>その他の車両</td> <td>25台</td> </tr> <tr> <td>香川県防災航空隊</td> <td>9名</td> <td>消防防災ヘリ</td> <td>8機</td> </tr> <tr> <td>高知県消防防災航空隊</td> <td>16名</td> <td>自衛隊ヘリ</td> <td>8機</td> </tr> <tr> <td>愛媛県消防防災航空隊</td> <td>13名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>兵庫県消防防災航空隊</td> <td>14名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>広島県防災航空隊</td> <td>6名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鳥取県消防防災航空隊</td> <td>7名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>陸上自衛隊</td> <td>121名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土庄警察署</td> <td>55名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土庄町職員</td> <td>24名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,337名</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	出動人員（延）		出動車両（延）		小豆地区消防本部	145名	消防ポンプ自動車	35台	土庄町消防団	717名	小型動力ポンプ付積載車	87台	池田町消防団	110名	自衛隊車両	6台	内海町消防団	100名	その他の車両	25台	香川県防災航空隊	9名	消防防災ヘリ	8機	高知県消防防災航空隊	16名	自衛隊ヘリ	8機	愛媛県消防防災航空隊	13名			兵庫県消防防災航空隊	14名			広島県防災航空隊	6名			鳥取県消防防災航空隊	7名			陸上自衛隊	121名			土庄警察署	55名			土庄町職員	24名			合計	1,337名		
出動人員（延）		出動車両（延）																																																											
小豆地区消防本部	145名	消防ポンプ自動車	35台																																																										
土庄町消防団	717名	小型動力ポンプ付積載車	87台																																																										
池田町消防団	110名	自衛隊車両	6台																																																										
内海町消防団	100名	その他の車両	25台																																																										
香川県防災航空隊	9名	消防防災ヘリ	8機																																																										
高知県消防防災航空隊	16名	自衛隊ヘリ	8機																																																										
愛媛県消防防災航空隊	13名																																																												
兵庫県消防防災航空隊	14名																																																												
広島県防災航空隊	6名																																																												
鳥取県消防防災航空隊	7名																																																												
陸上自衛隊	121名																																																												
土庄警察署	55名																																																												
土庄町職員	24名																																																												
合計	1,337名																																																												
3月	第十二代管理者、内海町長坂下一朗氏退任。																																																												
4月	第十三代管理者に土庄町長塩本淳平氏就任。 香川県防災航空隊へ職員1名交替派遣。																																																												
平成12年3月	消防本部2階へ通信指令室を設け、消防緊急通信指令システムを更新整備する。																																																												
10月	小豆島防火協会より防火広報車（軽四輪）の寄贈を受け、本署へ配置する。																																																												
平成13年3月	第十三代管理者、塩本淳平氏退任。 消防職員1名退職。職員総数70名となる。																																																												
平成13年4月	第十四代管理者に八木壮一郎氏就任。 消防職員1名採用。職員総数71名となる。																																																												
平成14年1月	消防職員1名退職。職員総数70名となる。																																																												

3月	第六代消防署長、木村敏夫氏退職。職員総数69名となる。																				
4月	第七代消防署長に内海分署長であった森三郎氏が昇任。 消防職員2名採用、職員総数71名となる。 香川県防災航空隊へ職員1名交替派遣。																				
平成15年3月	第十四代管理者、池田町長八木壮一郎氏退任。 第九代消防長、前田忠氏退職。職員総数70名となる。 日本損害保険協会より、高規格救急車（トヨタハイメディック）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。																				
4月	第十五代管理者に内海町長坂下一朗氏就任。 第十代消防長事務取扱に土庄町長三木佑二郎氏任命。 消防職員3名採用、職員総数73名となる。																				
10月	消防次長、高橋忠博氏逝去。職員総数72名となる。																				
12月	消防署長であった森三郎氏が消防次長に昇任。 第八代消防署長に内海分署長であった佐渡達夫氏が昇任。																				
平成16年3月	消防次長、森三郎氏退職。職員総数71名となる。 救助工作車（日野レンジャープロ）を購入し、本署へ配置する。																				
4月	消防署長であった佐渡達夫氏が消防次長に昇任。 第九代消防署長に浜岡成俊氏が昇任。																				
8月	台風16号による高潮被害。 <table border="1" data-bbox="414 1097 1117 1276"> <tr> <td>内海町</td> <td>床上浸水</td> <td>176戸</td> <td>床下浸水</td> <td>350戸</td> </tr> <tr> <td>土庄町</td> <td>床上浸水</td> <td>523戸</td> <td>床下浸水</td> <td>523戸</td> </tr> <tr> <td>池田町</td> <td>床上浸水</td> <td>49戸</td> <td>床下浸水</td> <td>160戸</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>床上浸水</td> <td>748戸</td> <td>床下浸水</td> <td>1,033戸</td> </tr> </table>	内海町	床上浸水	176戸	床下浸水	350戸	土庄町	床上浸水	523戸	床下浸水	523戸	池田町	床上浸水	49戸	床下浸水	160戸	合計	床上浸水	748戸	床下浸水	1,033戸
内海町	床上浸水	176戸	床下浸水	350戸																	
土庄町	床上浸水	523戸	床下浸水	523戸																	
池田町	床上浸水	49戸	床下浸水	160戸																	
合計	床上浸水	748戸	床下浸水	1,033戸																	
平成17年3月	第十五代管理者、内海町長坂下一朗氏退任。 第十代消防長事務取扱、土庄町長三木佑二郎氏退任。 消防職員1名退職、職員総数70名となる。 消防ポンプ自動車（日野CD-I）を購入し、内海分署へ配置する。																				
4月	第十六代管理者に土庄町長三木佑二郎氏就任。 第十一代消防長に消防次長であった佐渡達夫氏が昇任。 第十代消防署長に総務課長であった中川博行氏が昇任。 消防職員1名採用、職員総数71名となる。 香川県防災航空隊へ職員1名交替派遣。																				
平成18年1月	第十六代管理者、土庄町長三木佑二郎氏退任。第十七代管理者に土庄町長岡田好平氏就任。																				
3月	内海町、池田町（2町）が合併し、小豆島町となる。 消防職員5名退職（勸奨）職員総数66名となる。 消防ポンプ自動車（三菱CD-I）を購入し、池田分署へ配置する。																				
4月	消防職員5名採用、職員総数71名となる。																				
8月	消防職員1名退職、職員総数70名となる。																				

平成 19 年 3 月	第十七代管理者、土庄町長岡田好平氏退任。 消防職員 1 名退職（勸奨）職員総数 6 9 名となる。
4 月	第十八代管理者に小豆島町長坂下一朗氏就任。 消防職員 2 名採用、職員総数 7 1 名となる。
平成 20 年 1 月	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、本署へ配置する。
3 月	消防長、佐渡達夫氏・消防署長、中川博行氏他消防職員 3 名退職（内 3 名勸奨） 職員総数 6 6 名となる。
4 月	第十二代消防長に消防次長であった浜岡成俊氏が昇任。 消防次長に総務課長であった岡田正志氏が昇任。 第十一代消防署長に内海分署長であった森川誠三氏が昇任。 消防職員 3 名採用、職員総数 6 9 名となる。 香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。
平成 21 年 3 月	第十八代管理者、小豆島町長坂下一朗氏退任。 消防長、浜岡成俊氏・消防次長、岡田正志氏・消防署長、森川誠三氏 他消防職員 4 名退職（内 3 名勸奨）職員総数 6 2 名となる。
4 月	第十九代管理者に土庄町長岡田好平氏就任。 第十三代消防長事務取扱に小豆島町長坂下一朗氏任命。 消防次長に通信司令室長であった今口眞悟氏昇任。 第十二代消防署長に総務課長であった真砂清氏が昇任。 消防職員 7 名採用、職員総数 6 9 名となる。
12 月	日本損害保険協会より、高規格救急車（トヨタハイメディック）の寄贈を受け 内海分署へ配置する。
平成 22 年 3 月	消防職員 2 名退職（勸奨）職員総数 6 7 名となる。
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 6 9 名となる。

5. 主たる総務行事（平成21年）

2月13日	香川県消防広域化検討委員会組織部会(第3回)	(高松市)
3月5日	小豆地区広域行政事務組合定例議会	
4月7日	消防職員第56期初任教育入校式	(高松市)
10日	第1回県下消防長会議	(多度津町)
4月19日	小豆郡消防連合会総会・表彰式	
23日	全国消防長会四国支部総会	(観音寺市)
5月8日	香川県消防協会第1回理事会・代議員会	(高松市)
28日	香川県消防協会消防功労者定例表彰式	(高松市)
29日	香川県消防広域化検討委員会(第1回)	(高松市)
8月28日	香川県消防協会第2回理事会	(高松市)
9月9日	消防職員委員会	
30日	小豆地区広域行政事務組合定例議会	
30日	消防職員第56期初任教育卒業式	(高松市)
10月8日	全国消防長会四国支部消防長研修会	(高松市)
15日	消防学校教育推進協議会	(高松市)
16日	県下庶務事務担当者会議	(仲多度郡)
30日	県下署長会議	(高松市)
11月6日	香川県消防長会議及び消防職員意見発表会	(観音寺市)
10日	警察消防殉職者合同慰霊祭	(高松市)
12月4日	小豆地区広域行政事務組合定例議会	

6. 歴代消防長

平成 22 年 4 月 1 日現在

年 代	氏 名	在 職 期 間	勤 務 年 数	
初 代	清 水 勝	自 昭 4 7 . 4 . 1 至 昭 5 0 . 4 . 1	3 年	0 月
二 代	坂 本 傳	自 昭 5 0 . 6 . 1 至 昭 5 2 . 5 . 3 1	2 年	0 月
三 代	(消防長事務取扱) 川 北 四 十 二	自 昭 5 2 . 6 . 1 至 昭 5 3 . 3 . 3 1		1 0 月
四 代	洲 本 勝	自 昭 5 5 . 4 . 1 至 昭 5 9 . 3 . 3 1	4 年	0 月
五 代	谷 元 哲 彦	自 昭 5 9 . 4 . 1 至 昭 6 1 . 3 . 3 1	2 年	0 月
六 代	(消防長事務取扱) 八 木 壯 一 郎	自 昭 6 1 . 4 . 1 至 昭 6 3 . 3 . 3 1	2 年	0 月
七 代	大 谷 隆 生	自 昭 6 3 . 4 . 1 至 平 5 . 3 . 3 1	5 年	0 月
八 代	中 黒 輝 雄	自 平 5 . 4 . 1 至 平 7 . 6 . 6	2 年	2 月
九 代	前 田 忠	自 平 7 . 7 . 1 至 平 1 5 . 3 . 3 1	7 年	9 月
十 代	(消防長事務取扱) 三 木 佑 二 郎	自 平 1 5 . 4 . 1 至 平 1 7 . 3 . 3 1	2 年	0 月
十 一 代	佐 渡 達 夫	自 平 1 7 . 4 . 1 至 平 2 0 . 3 . 3 1	3 年	0 月
十 二 代	浜 岡 成 俊	自 平 2 0 . 4 . 1 至 平 2 1 . 3 . 3 1	1 年	0 月
十 三 代	(消防長事務取扱) 坂 下 一 朗	自 平 2 1 . 4 . 1 至 現 在		

7. 歴代消防署長

平成 22 年 4 月 1 日現在

年 代	氏 名	在 職 期 間	勤 務 年 数	
初 代	清 水 勝	自 昭 4 7 . 4 . 1 至 昭 4 9 . 3 . 3 1	2 年	0 月
二 代	役 重 正 則	自 昭 4 9 . 4 . 1 至 昭 5 6 . 4 . 1 4	7 年	1 月
三 代	谷 元 哲 彦	自 昭 5 6 . 5 . 1 至 昭 6 1 . 3 . 3 1	4 年	1 1 月
四 代	中 黒 輝 雄	自 昭 6 1 . 4 . 1 至 平 5 . 3 . 3 1	7 年	0 月
五 代	前 田 忠	自 平 5 . 4 . 1 至 平 8 . 3 . 3 1	3 年	0 月
六 代	木 村 敏 夫	自 平 8 . 4 . 1 至 平 1 4 . 3 . 1	6 年	0 月
七 代	森 三 郎	自 平 1 4 . 4 . 1 至 平 1 5 . 1 1 . 3 0	1 年	8 月
八 代	佐 渡 達 夫	自 平 1 5 . 1 2 . 1 至 平 1 6 . 3 . 3 1		4 月
九 代	浜 岡 成 俊	自 平 1 6 . 4 . 1 至 平 1 7 . 3 . 3 1	1 年	0 月
十 代	中 川 博 行	自 平 1 7 . 4 . 1 至 平 2 0 . 3 . 3 1	3 年	0 月
十 一 代	森 川 誠 三	自 平 2 0 . 4 . 1 至 平 2 1 . 3 . 3 1	1 年	0 月
十 二 代	真 砂 清	自 平 2 1 . 4 . 1 至 現 在		

9. 事務分掌

総務課

人事教養係

- (1) 職員の任用、服務及び賞罰に関する事項
- (2) 職員の給与に関する事項
- (3) 職員の公務災害補償に関する事項
- (4) 職員の研修及び能率増進に関する事項
- (5) 行政不服審査及び訴訟に関する事項
- (6) 消防長の秘書及び儀式用務に関する事項
- (7) 消防協力者等の災害補償及び表彰に関する事項

庶務係

- (1) 公文書の收受及び発送に関する事項
- (2) 完結文書の整理保管に関する事項
- (3) 公印の保管に関する事項
- (4) 規程等の審査に関する事項
- (5) 消防年報に関する事項
- (6) 財産の管理に関する事項
- (7) 消防職員委員会に関する事項
- (8) 各課の総合調整に関する事項
- (9) 他課の所管に属さない事項

予防課

予防係

- (1) 火災予防の指導に関する事項
- (2) 建築確認等の同意に関する事項
- (3) 防火対象物の消防計画の作成及び訓練の指導に関する事項
- (4) 消防用設備等の設置に関する事項
- (5) 防火対象物の違反処理に関する事項
- (6) 火災の原因及び損害の調査・報告に関する事項
- (7) 火気使用設備等の指導に関する事項
- (8) 消防広報及び広聴に関する事項
- (9) 自主防火・防災組織の育成指導に関する事項
- (10) 防火管理者の育成指導に関する事項
- (11) 防火対象物定期点検報告制度に関する事項
- (12) 前各号のほか、予防業務に関する事項

保安係

- (1) 危険物製造所等の許可及び検査に関する事項
- (2) 危険物製造所等の指導取締りに関する事項
- (3) 液化石油ガス設備工事届等に関する事項
- (4) その他危険物関係の指導に関する事項

警 防 課

警 防 係

- (1) 消防計画に関する事項
- (2) 警防対策に関する事項
- (3) 警防演習に関する事項
- (4) 消防機材の配置及び管理に関する事項
- (5) 火災予防条例第45条の届出の受理に関する事項
- (6) 各町の地域防災計画に関する事項
- (7) 消防団に関する事項
- (8) 消防水利に関する事項
- (9) 災害報告に関する事項
- (10) 前各号のほか、警防業務に関する事項

救 急 係

- (1) 救急計画に関する事項
- (2) 救急運用に関する事項
- (3) 救急資機材の配置及び管理に関する事項
- (4) 救急、救助年報に関する事項
- (5) 前各号のほか、救急業務に関する事項

通 信 指 令 室

通 信 係

- (1) 消防通信に関する事項
- (2) 前各号のほか、通信事務に関する事項

10. 管内面積及び人口、世帯数

平成22年4月1日現在

区 分 町 別	面 積 (km ²)	人 口			世 帯 数 (世帯)
		男 (人)	女 (人)	計 (人)	
土 庄 町	74.39	6,981	8,142	15,123	6,540
小 豆 島 町	95.63	7,533	8,524	16,057	6,751
合 計	170.02	14,514	16,666	31,180	13,291

(住民基本台帳による)

1 1. 消防庁舎の現状

区分 署所別	所在地	構造	建築延面積	竣工年月日
本部・署	香川県小豆郡土庄町 甲 557 番地 4	鉄筋コンクリート 3 階 建	979.720 m ²	S. 47. 12. 30
内海分署	香川県小豆郡小豆島町安田 甲 144 番地 90	鉄筋コンクリート 2 階 建	392.135 m ²	S. 48. 4. 30
池田分署	香川県小豆郡小豆島町池田 2099 番地 4	鉄筋コンクリート 2 階 建	288.175 m ²	S. 47. 12. 30

1 2. 職員の勤務年数

平成 22 年 4 月 1 日現在

階級別 年 数	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
1 年 未 満							2	2
1 年～ 2 年未満							7	7
2 年～ 3 年未満							3	3
3 年～ 4 年未満							2	2
4 年～ 5 年未満							5	5
5 年～ 10 年未満						5	1	6
10 年～ 15 年未満						2		2
15 年～ 20 年未満				3	7			10
20 年～ 25 年未満				3	3			6
25 年～ 30 年未満				4				4
30 年 以 上		2	9	11				22
合 計		2	9	21	10	7	20	69
平 均		37.5	37.9	27.4	18.6	9.3	2.2	19.1

13. 職員の年齢

平成22年4月1日現在

階級別 年数	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
18才～20才							2	2
21才～25才						1	14	15
26才～30才						4	4	8
31才～35才					2	2		4
36才～40才				1	8			9
41才～45才				6				6
46才～50才				7				7
51才～55才				7				7
56才～60才		2	9					11
合計		2	9	21	10	7	20	69
平均年齢		58.0	57.3	48.1	37.1	29.7	23.4	39.0

14. 職員の配置状況

平成22年4月1日現在

階級別 署所別	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
消 防 本 部		2	6	11	5	3	8	35
消 防 署		(1)	(1)	(11)	(5)	(3)	(6)	(27)
内 海 分 署			2	7	3	3	7	22
池 田 分 署			1	3	1	1	5	11
県 防 災 航 空 隊					1			1
合計		2	9	21	10	7	20	69

※ () 内は兼務

15. 消防力の現勢

平成22年4月1日現在

		基準数	現 有 数	充 足 率
署	所 数	3	3	100.0
指	揮 隊 員	3	2	66.7
消	防 隊 員	60	36	63.3
救	急 隊 員	18	16	88.9
救	助 隊 員	15	16(兼務)	106.7
通	信、望楼要員	5	2	40.0
予	防 要 員	6	2	33.4
庶	務処理等の要員	10	10	100.0
消 防 ポ ン プ 自 動 車		5	4	80.0
は し ご 自 動 車		2	1	50.0
化 学 車		1	—	—
救助工作車 (省令第4条)		1	1	100.0
救 急 車		4	4	100.0
特 殊 車 等	指 揮 車	—	1	—
	林野火災工作車	—	—	—
	電源・照明車	—	—	—
	排 煙 車	—	—	—
	査 察 広 報 車	—	1	—
	レッカー・クレーン車	—	—	—
	小型ポンプ付水槽車	—	1	—
そ の 他 の 車 両		—	3	—
消 防 水 利		591	347	58.7

16. 消防職員・消防車等に対する人口及び世帯数の割合

平成22年4月1日現在

種 別	区 分	人 口 (人)	世 帯 数 (世帯)	面 積 (k㎡)
消 防 職 員 1 人 当 り		452	193	2.46
消 防 ポ ン プ 自 動 車 1 台 当 り		7,795	3,323	42.51
救 急 車 1 台 当 り		7,795	3,323	42.51
署 1 ケ 所 当 り		10,393	4,430	56.67

17. 消防予算

(1) 歳入

(単位：千円)

区 分	平成21年度予算額	平成22年度予算額
1. 分担金及び負担金	630,807	589,887
2. 使用料及び手数料	100	100
3. 国庫支出金		
4. 県支出金		
5. 財産収入		
6. 寄付金		
7. 繰越金		
8. 諸収入		
9. 組合債		
合計	630,907	589,987

(2) 歳出

(単位：千円)

区 分	平成21年度予算額	平成22年度予算額
1. 総務費	568,292	546,689
2. 予防費	1,113	1,059
3. 警防費	11,396	10,690
4. 救急費	4,740	4,693
5. 水防費	233	283
6. 施設費	33,600	17,827
7. 公債費	11,533	8,746
合計	630,907	589,987

18. 平成22年度町別一般会計予算と消防予算

(単位：千円)

区 分	土庄町	小豆島町	合計
一般会計予算額	6,628,000	6,986,000	13,614,000
消防予算額	297,190	359,983	657,173
常備消防費	265,921	323,966	589,887
非常備消防費	30,040	33,666	63,706
消防施設費	568	900	1,468
水防費	661	1,448	2,109
災害対策費		3	3
一般会計と消防費の比(%)	4.48	5.15	4.82
住民1人当りの消防費用(円)	19,652	21,567	21,077
一世帯当たりの消防費用(円)	45,442	50,588	49,445

19. 消防費基準財政需要額及び町負担金(決算額)

(単位：千円)

町別	平成21年度 消防費基準財政需要額	平成22年度 町負担金
土庄町	250,019	285,569
小豆島町	304,601	347,902
合計	554,620	633,471

20. 職員特殊技能資格取得状況

平成22年4月1日現在

種 別		階 級 別		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
自 動 車 運 転 免 許	大 型 1 種					4	8	8	3	14	37
	大 型 2 種						1				1
	普 通 1 種			2		9	20	10	7	20	68
	自 動 2 輪			2		8	6	3	2	6	27
	大 型 けん引										
消 防 用 設 備 点 検 資 格 者 第 1 種 ・ 第 2 種						3		2			5
消 防 設 備 士 許 免							1	2		1	4
危 険 物 取 扱 者 許 免						1	3	5	3	17	29
特 殊 無 線 技 士 乙 無 線 電 話				1		3	1				5
第 二 級 陸 上 特 殊 士 無 線 技 士						2	10	8	4	2	26
第 三 級 陸 上 特 殊 士 無 線 技 士						3	3	1			7
電 話 級 ア マ チ ュ ア 無 線 技 士							1				1
小 型 船 舶 操 縦 士 許 2 級 免 許						4	13	5		2	24
応 急 導 手 当 員				1		3	14	5	3	2	28
救 急 資 格 課 程 I 課 程 1 3 5 時 間				1		9	11				21
救 急 資 格 課 程 II 課 程 1 1 5 時 間				1		5	11				17
救 急 準 資 格 課 程 標 準 課 程							10	9	4	3	26
救 急 救 命 士							7	2	1	1	11
石 油 機 器 技 術 管 理 士							1	2			3
第 II 種 酸 素 欠 乏 者 危 険 作 業 主 任							3	7	4		14
潜 水 士							1	1	1		3
特 定 化 学 物 質 等 者 作 業 主 任							1	2			3

21. 職員諸手当調

平成 22 年 4 月 1 日現在

区 分	単位	金 額	備 考	
管 理 職 手 当	月	34,000 円	消 防 長 消 防 司 令 長 消 防 司 令 消防司令補の課長補佐及び副主幹（日勤者）	
		24,000 円		
		20,000 円		
		15,000 円		
時間外勤務手当	時間	$\frac{\text{本俸} \times 12 \times 1.25 (1.35)}{(40 \times 52) - (18 \times 8)}$	時間外勤務を命ぜられた職員	
夜間勤務手当	〃	$\frac{\text{本俸} \times 12 \times 0.25}{(40 \times 52) - (18 \times 8)}$	深夜勤務を命ぜられた職員	
夜間特殊業務手当	〃	5 時間以上 780円	同 上	
		2時間以上5時間未満 650円		
		2 時間 未 満 410円		
		1 時間 未 満 200円		
出動手当	火 災	1回	400円	出 動 隊 員 1 名 に つ き
	救 急	〃	220円	〃
	救助	〃	400円	〃
火災原因調査手当	〃		300円	調 査 1 回 に つ き
救急救命士手当	月		3,000円	救 急 救 命 士

22. 職員教養状況調

平成 22 年 4 月 1 日現在

区 分	階 級 別	消	消	消	消	消	消	消	合
		防	防	防	防	防	防	防	計
		監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	
消 防 大 学 校	上 級 幹 部 科								
	幹 部 研 修 科								
	警 防 科								
	予 防 科								
	救 急 科								
	救 助 科					1			1
香 川 県 消 防 学 校	初 任 科		2	7	21	10	7	18	65
	初 級 幹 部 科				1	1			2
	中 級 幹 部 科		2	4	2				8
	上 級 幹 部 科		1	1					2
	予 防 査 察 科		1	4	8	2	1		16
	危 険 物 科					2			2
	火 災 調 査 科			2	4	3	2		11
	警 防 科		1	5	2	5	1	1	15
	救 急 科				9	9	4	3	25
	救 助 科			1	10	7	4		22
その他	救 急 救 命 士				7	2	1	1	11

23. 職員の居住地調

平成22年4月1日現在

区分	階級別	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
小豆島町		2	4	13	6	4	5	34	
合計		2	9	21	10	7	20	69	

24. 職員任用退職状況調

平成22年4月1日現在

年度	区分	新任	退職	転入 出		職員総数
				入	出	
昭和57年		2	1			69
昭和58年			1			68
昭和59年		1	1		1	67
昭和60年						67
昭和61年		1	1	1		68
昭和62年						68
昭和63年		1				69
平成元年		3	2			70
平成2年		2	2		1	69
平成3年		3	2		1	69
平成4年		2	1			70
平成5年		2	2		1	69
平成6年		2				71
平成7年						71
平成8年		2	1	1	2	71
平成9年						71
平成10年						71
平成11年						71
平成12年						71
平成13年		1	1			71
平成14年		2	2			71
平成15年		3	1			73
平成16年			2			71
平成17年		1	1			71
平成18年		5	5			71
平成19年		2	2			71
平成20年		3	5			69
平成21年		7	7			69
平成22年		2	2			69

25. 職員の推移

平成22年4月1日現在

階級別 年度別	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
昭和57年	1	1	1	8	11	38	9	69
昭和58年	1	1	4	5	10	42	5	68
昭和59年	1		5	7	14	34	6	67
昭和60年	1		5	7	18	32	4	67
昭和61年		2	4	7	26	25	4	68
昭和62年		2	4	7	33	18	4	68
昭和63年	1	1	4	7	33	20	3	69
平成元年	1	1	4	7	38	13	6	70
平成2年	1	1	5	7	36	11	8	69
平成3年	1	2	4	10	31	12	9	69
平成4年	1	2	4	14	28	10	11	70
平成5年	1	2	3	18	26	9	10	69
平成6年	1	2	3	18	26	9	12	71
平成7年	1	2	4	19	26	8	11	71
平成8年	1	4	3	17	25	11	10	71
平成9年	1	4	3	22	22	11	8	71
平成10年	1	4	3	27	18	13	5	71
平成11年	1	4	3	28	19	12	4	71
平成12年	1	5	4	30	16	12	3	71
平成13年	1	4	4	32	15	12	3	71
平成14年	1	3	5	32	15	11	4	71
平成15年		3	9	29	15	12	5	73
平成16年		2	9	29	17	9	5	71
平成17年	1	2	8	30	16	8	6	71
平成18年	1	5	3	29	17	5	11	71
平成19年	1	5	6	27	15	6	11	71
平成20年	1	3	7	25	14	7	12	69
平成21年		2	5	23	14	6	19	69
平成22年		2	9	21	10	7	20	69

予 防

1. 主たる予防行事（平成21年）

- 1月19日 重要文化財の予防査察
～30日
- 3月1日 春季全国火災予防運動
～7日
- 3月4日 香川県小豆総合事務所建築との合同立入検査
- 3月19日 平成20年度小豆島防火協会臨時役員会
- 4月6日 平成20年度小豆島防火協会臨時総会
- 4月16日 平成21年度小豆島防火安全協会設立総会
- 6月7日 危険物安全週間
～13日
- 6月12日 平成21年度香川県危険物安全大会
- 25日 平成21年度小豆地区婦人防火クラブ連絡協議会総会
〃 平成21年度小豆地区少年婦人防火委員会
- 6月～9月 防火対象物定期点検報告制度に基づく立入検査
- 8月7日 危険物取扱者保安講習
- 9月2日 香川県小豆総合事務所建築との合同立入検査
- 18日 平成21年度県下予防事務担当者会議 (善通寺)
- 11月9日 秋季全国火災予防運動
～15日
- 11月20日 移動タンク貯蔵所路上検査
- 11月26日 移動タンク貯蔵所立入検査
～30日

2. 「防火優良認定」交付対象物状況

平成22年4月1日現在

区分 用途	定期点検報告制度 対象物数	防火優良認定 交付対象物数	交付率 (%)
旅館・ホテル等	35	21	60

3. 自主防災組織の現況

- 小豆島防火安全協会（平成21年4月1日設立 会員数333事業所）
- 小豆地区少年婦人防火委員会 ———— 各地区少年消防クラブ
- 小豆地区婦人防火クラブ連絡協議会 ———— 各地区婦人防火クラブ

少年消防クラブ（5クラブ 165名）

平成22年5月1日現在

クラブの名称	結成年月日	クラブ員数	組織単位	行政区
安田少年消防クラブ	昭和26年12月8日	69名	地区	小豆島町
坂手	昭和28年5月5日	13名	〃	〃
鹿島	昭和54年12月3日	34名	〃	土庄町
橘	昭和55年5月30日	32名	〃	小豆島町
大木戸	昭和57年4月1日	17名	〃	土庄町

婦人防火クラブ（15クラブ 1,336名）

平成22年6月1日現在

クラブの名称	結成年月日	クラブ員数	組織単位	行政区
苗羽婦人防火クラブ	昭和20年10月10日	129名	地区	小豆島町
坂手	昭和22年4月1日	126名	〃	〃
草壁	昭和23年4月1日	126名	〃	〃
福田	昭和24年4月1日	休止	〃	〃
安田	昭和24年7月11日	53名	〃	〃
西村	平成13年4月1日	90名	〃	〃
土庄町婦人防火クラブ連合会	昭和54年12月3日	兼務	〃	土庄町
〃 土庄支部	昭和26年1月1日	133名	〃	〃
〃 湊崎支部	〃	151名	〃	〃
〃 大鐸支部	〃	21名	〃	〃
〃 北浦支部	〃	116名	〃	〃
〃 四海支部	〃	81名	〃	〃
〃 豊島支部	〃	41名	〃	〃
池田婦人防火クラブ	昭和37年1月7日	235名	〃	小豆島町
鹿島婦人消防クラブ	昭和54年12月3日	9名	〃	土庄町
馬越	昭和56年8月1日	25名	〃	〃

4. 防火対象物現況表（150㎡以上）

平成22年4月1日現在（単位：棟）

項 目	町 別 防火対象物区分		土 庄 町		小 豆 島 町		合 計	
			防火 対象 物数	法8 対象 物数	防火 対象 物数	法8 対象 物数	防火 対象 物数	法8 対象 物数
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等						
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	32	32	29	29	61	61
(2)	イ	キャバレー・カフェー等	3	3			3	3
	ロ	遊技場又はダンスホール	2	2			2	2
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス等			1	1	1	1
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店	1				1	
	ロ	飲 食 店	19	17	9	8	28	25
(4)		百貨店・マーケット・店舗等	33	20	30	22	63	42
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	80	45	45	32	125	77
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	79	4	85	11	164	15
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	9	2	10	4	19	6
	ロ	養 護 老 人 ホ ー ム 等	6	6	5	5	11	11
	ハ	老人デイサービスセンター等	14	13	10	7	24	20
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等	3	3	5	3	8	6
(7)		小・中・高・大学各種学校	24	8	24	8	48	16
(8)		図 書 館 ・ 博 物 館 等	1	1	8	6	9	7
(9)	イ	サ ウ ナ 等						
	ロ	公 衆 浴 場						
(10)		停 車 場 等	3	2	6		9	2
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	21	3	18	5	39	8
(12)	イ	工 場 又 は 作 業 場	145	4	185	17	330	21
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ			1		1	
(13)		自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	16		8		24	
(14)		倉 庫	47		81		128	
(15)		前各項に該当しない事業場	43	13	53	18	96	31
(16)	イ	複 合 ・ 特 定 防 火 対 象 物	67	39	49	33	116	72
	ロ	イ以外の複合用途対象物	12	2	11	1	23	3
(17)		重 要 文 化 財 建 造 物 等	2		2		4	
合 計			662	219	675	210	1,337	429

5. 防火管理者選任届状況

平成 22 年 4 月 1 日現在 (単位：棟)

項目	町 別		土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
	防火対象物区分				
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等			
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	10	20	30
(2)	イ	キ ャ バ レ ー ・ カ フ ェ ー 等			
	ロ	遊 技 場 又 は ダ ン ス ホ ー ル	2		2
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗 等			
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等		1	1
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店			
	ロ	飲 食 店	8	8	16
(4)		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ 店 舗 等	12	17	29
(5)	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	38	31	69
	ロ	共 同 住 宅 ・ 寄 宿 舎 等		1	1
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	2	4	6
	ロ	養 護 老 人 ホ ー ム 等	15	5	20
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等		7	7
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等	3	3	6
(7)		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 各 種 学 校	8	7	15
(8)		図 書 館 ・ 博 物 館 等	1	5	6
(9)	イ	サ ウ ナ 等			
	ロ	公 衆 浴 場			
(10)		停 車 場 等	1		1
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	2	3	5
(12)	イ	工 場 又 は 作 業 場	3	13	16
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ			
(13)		自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場			
(14)		倉 庫			
(15)		前 各 項 に 該 当 し な い 事 業 場	5	13	18
(16)	イ	複 合 ・ 特 定 防 火 対 象 物	20	27	47
	ロ	イ 以 外 の 複 合 用 途 対 象 物		1	1
(17)		重 要 文 化 財 建 造 物 等			
合 計			130	166	296

6. 建築同意事務処理状況

(1) 町別状況

(面積：㎡)

工事別	町別	土庄町		小豆島町		合計	
		件数	延面積	件数	延面積	件数	延面積
新築	築	11	4,841.41	15	3,339.02	26	8,180.43
増築	築	4	2,851.40	2	7,344.78	6	10,196.18
改築	築						
用途変更	更						
移転	転						
増改築	築						
大規模な修繕							
大規模な模様替え							
その他		4	2,766.23	3	628.84	7	3,395.07
合計	計	19	10,459.04	20	11,312.64	39	21,771.68

(2) 月別・工事別状況

(面積：㎡)

区分	工事別	新築	増築	改築	用途変更	その他	合計
		4月	件数				
	延面積						
5月	件数	1					1
	延面積	187.51					187.51
6月	件数	3	1				4
	延面積	1,622.17	1,661.07				3,283.24
7月	件数	3	1				4
	延面積	248.79	183.22				432.01
8月	件数						
	延面積						
9月	件数	1				2	3
	延面積	449.22				318.89	768.11
10月	件数	6					6
	延面積	3,460.52					3,460.52
11月	件数	3					3
	延面積	268.69					268.69
12月	件数	2	1			2	5
	延面積	227.25	7,161.56			464.59	7,853.40
1月	件数	3				1	4
	延面積	1,034.04				112.61	1,146.65
2月	件数	2	1			1	4
	延面積	189.82	130.13			164.25	484.20
3月	件数	2	2			1	5
	延面積	492.42	1,060.20			2,334.73	3,887.35
合計	件数	26	6			7	39
	延面積	8,180.43	10,196.18			3,395.07	21,771.68

(3) 用途別状況

(面積：m²)

項目	町 別 防火対象物区分		土 庄 町		小 豆 島 町		合 計	
			件数	延面積	件数	延面積	件数	延面積
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等						
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	1	177.83			1	177.83
(2)	イ	キャバレー・カフェー等						
	ロ	遊技場又はダンスホール						
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス等						
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店						
	ロ	飲 食 店						
(4)		百貨店・マーケット・店舗等	1	63.00			1	63.00
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所						
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	2	318.89	2	772.24	4	1,091.13
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 等						
	ロ	養護老人ホーム等	1	605.76			1	605.76
	ハ	老人デイサービスセンター等			1	449.22	1	449.22
	ニ	幼稚園・養護学校等						
(7)		小・中・高・大学各種学校			1	7,161.56	1	7,161.56
(8)		図 書 館 ・ 博 物 館 等	3	4,805.30			3	4,805.30
(9)	イ	サ ウ ナ 等						
	ロ	公 衆 浴 場						
(10)		停 車 場 等						
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会						
(12)	イ	工 場 又 は 作 業 場	4	3,572.63	2	112.82	6	3,685.45
	ロ	映画・テレビスタジオ						
(13)		自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場						
(14)		倉 庫	3	133.64	5	826.40	8	960.04
(15)		前各項に該当しない事業場	3	651.86	4	1,255.24	7	1,907.10
(16)	イ	複 合 ・ 特 定 防 火 対 象 物			4	625.34	4	625.34
	ロ	イ以外の複合用途対象物						
(17)		重 要 文 化 財 建 造 物 等						
		そ の 他						
		住 宅	1	130.13	1	109.82	2	239.95
		合 計	19	10,459.04	20	11,312.64	39	21,771.68

7. 危険物施設の現況

種 別		町 別		合 計
		土 庄 町	小 豆 島 町	
製 造 所			1	1
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	1	9	10
	屋 外 貯 蔵 所	2	2	4
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	1		1
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	18	25	43
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	26	18	44
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	2	1	3
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	25	19	44
	小 計	75	75	150
取 扱 所	給 油 取 扱 所	21	20	41
	第 1 種 販 売 取 扱 所	3	1	4
	第 2 種 販 売 取 扱 所			
	一 般 取 扱 所	17	12	29
	小 計	41	33	74
合 計		116	108	224

8. 危険物施設の許認可状況

種 別		区 分										
		設 置 許 可	変 更 許 可	(完 成 設 置 検 査)	(完 成 変 更 検 査)	承 仮 使 認 用	仮 取 扱 承 認 び	選 保 安 任 監 督 届 者	解 保 安 任 監 督 届 者	廃 止 届	合 計	
製 造 所												
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所										1	1
	屋 外 貯 蔵 所											
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所											
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所										3	3
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所		2		2	1		2	2	1	10	
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所							1	1		2	
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	1	3	1	3						8	
	小 計	1	5	1	5	1		3	3	5	24	
取 扱 所	給 油 取 扱 所		4		4	4	20	3	3	1	39	
	第 1 種 販 売 取 扱 所											
	第 2 種 販 売 取 扱 所											
	一 般 取 扱 所		1		1			1	1	3	7	
	小 計		5		5	4	20	4	4	4	46	
合 計		1	10	1	10	5	20	7	7	9	70	

9. 各種届出事務処理状況

種 別	町 別		
	土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
工事整備対象設備等着工届	10	9	19
消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届	15	27	42
消防用設備等点検結果報告	96	71	167
防火対象物使用開始届	2	6	8
防火管理者選任(解任)届	13	13	26
消防計画書作成(変更)届	23	22	45
消火・避難訓練実施届	67	45	112
り 災 証 明	3	5	8
ボ イ ラ ー 設 置 届		4	4
乾 燥 設 備 設 置 届			
発電変電蓄電池設備設置届	3	7	10
ネオン管灯設備設置届			
水素ガスを充填する気球の設置届			
火災とまぎらわしい行為の届	3	31	34
煙火打ち上げ・仕掛届	3	9	12
催 物 開 催 届	2	2	4
少量危険物貯蔵取扱届	1	8	9
圧縮アセチレンガス貯蔵取扱届			
液化ガス貯蔵取扱届	1		1
液化石油ガス設備工事届		2	2
旅館等適合通知書交付申請		1	1
合 計	242	262	504

10. 広報・広聴実施状況

町 別 種 別	土 庄 町			小 豆 島 町			合 計		
	回 数	対 象 人 員 数	指 導 職 員 数	回 数	対 象 人 員 数	指 導 職 員 数	回 数	対 象 人 員 数	指 導 職 員 数
学 校									
幼 稚 園 等	7	306	13	4	388	9	11	694	22
旅 館	22	48	44	6	13	12	28	61	56
工場・作業場	1	171	6				1	171	6
婦 人 会				1	20	1	1	20	1
老 人 会									
そ の 他	10	372	20	12	192	37	22	564	57
合 計	40	897	83	23	613	59	63	1,510	142

1 1. 中高層建築物(4階以上)の現況表

項 目	町 別 階 別 対 象 物	土 庄 町							小 豆 島 町							合 計							
		四 階	五 階	六 階	七 階	八 階	十 階	小 計	四 階	五 階	六 階	八 階	十 階	十 三 階	小 計	四 階	五 階	六 階	七 階	八 階	十 階	十 三 階	合 計
		(1)	イ 劇場・映画館等																				
	ロ 公会堂又は集会場	1						1															1
(2)	イ キャバレー・カフェ等	1						1															1
	ロ 遊技場又はダンスホール																						
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗等																						
	ニ カラオケボックス等																						
(3)	イ 待合・料理店																						
	ロ 飲食店																						
(4)	百貨店・マーケット・店舗等																						
(5)	イ 旅館・ホテル・宿泊所	7	3	1		2	1	14	1					1	2	8	3	1		2	1	1	16
	ロ 共同住宅・寄宿舎等	9	5	1				15	13	17	1				31	22	22	2					46
(6)	イ 病院・診療所等		1					1		1	2			3		2	2						4
	ロ 養護老人ホーム等	1	1					2	3					3	4	1							5
	ハ 老人デイサービスセンター等																						
	ニ 幼稚園・養護学校等																						
(7)	小・中・高・大学各種学校	1						1	1					1	2								2
(10)	停車場等																						
(11)	神社・寺院・教会		1					1								1							1
(12)	イ 工場・作業場	1						1	1	1				2	2	1							3
	ロ 映画・テレビスタジオ																						
(14)	倉庫																						
(15)	前各項に該当しない事業場	2						2	3					3	5								5
(16)	イ 複合・特定防火対象物	7			2			9		2			1	3	7	2		2		1			12
	ロ イ以外の複合用途対象物	5						5		1			1	2	5	1				1			7
(17)	重要文化財建造物等																						
合 計		35	11	2	2	2	1	53	22	22	3		2	1	50	57	33	5	2	2	3	1	103

警 防



警 防 係

近年、社会情勢の進展に伴い各種災害は複雑多様化、大規模広域化の傾向にあり、住民の消防に寄せる期待はますます高まっています。

これらの災害から地域住民の生命、身体及び財産を保護するため、資器材の整備による警防体制の充実強化、教養訓練の実施による職員の資質向上に努めています。

また、職員の高齢化に対応するため、消防車両をはじめとする各種資器材、装備品の軽量少力化を図っています。

救 急 係

救急業務の応急処置範囲拡大に伴い、高度救急資器材の整備充実を図り、救急隊員の資質の向上に努めるとともに、応急手当の普及啓発活動を積極的に推進し、地域住民、救急隊、医療機関との連携強化を図り、傷病者の救命率向上と救急体制の万全を期するように努めています。

また、平成9年11月から管内の病院の協力を得て、救急救命士による特定行為の高度救急救命処置を実施するなど、住民の信頼に応えるために鋭意努力しています。

1. 主たる警防行事（平成21年）

1月 4日	土庄町消防出初式	
1月 4日	小豆島町消防出初式	
7月23日	第38回消防救助技術四国地区指導会	(徳島市)
9月 5日	香川県総合防災訓練	(観音寺市)
9月13日	平成21年度香川県消防操法大会	(香川県消防学校)
10月 2日	平成21年度県下警防事務担当者会議	(坂出市)
10月15日	平成21年度中国四国ブロック	
～16日	緊急消防援助隊合同訓練	(出雲市)
10月22日	第22回全国消防操法大会	(横浜市)
11月 5日	平成21年度全国消防長会四国支部警防事務担当者会議	(徳島県)

(救急)

3月27日	香川県メディカルコントロール協議会	(高松市)
7月 6日	香川県メディカルコントロール協議会事後検証会	(高松市)
8月 6日	エピネフリン製剤事前説明会	(香川県消防学校)
8月 7日	〃	(〃)
8月 9日	香川外傷セミナー	(善通寺市)
9月12日	小豆郡医師会救急医学講習会	(小豆島)
9月25日	香川県救急事務担当者会	(さぬき市)
10月 6日	香川県メディカルコントロール協議会事後検証会	(高松市)
11月18日	消防法一部改正に伴う意見交換会	(高松市)
12月 2日	香川県メディカルコントロール協議会	(高松市)
12月20日	香川外傷セミナー	(香川県消防学校)
12月22日	平成21年度香川県メディカルコントロール協議会委員会	(県庁)

1月20日	(苗羽小学校)	} いのちの先生
9月27日	(池田小学校)	
10月20日	(星城小学校)	
12月 2日	(豊島小学校、豊島中学校)	

2. 消防車両等配置状況

平成22年4月1日現在

	名 称	種 別	車 名	購 入 年 月 日	備 考
本 署	指 揮 車	指揮車	トヨタ	平成 2年12月21日	
	ポンプ1号車	水槽付消防ポンプ車	三 菱	平成10年10月15日	水槽1,700ℓ
	ポンプ2号車	水槽車 <small>小型動力ポンプB-3</small>	三 菱	平成 5年12月 7日	水槽2,600ℓ
	は し ご 車	はしご車 30m級	日 野	平成 6年11月17日	
	救 助 工 作 車	救助工作車Ⅱ型	日 野	平成16年 3月19日	
	防災工作車1号車	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	昭和63年 8月 5日	B-3積載
	救 急 1 号 車	高規格救急車 ハイエース	トヨタ	平成20年 1月23日	
	救 急 2 号 車	高規格救急車 グランビア	トヨタ	平成 9年10月23日	
	査 察 広 報 車		日 産	昭和62年 6月 4日	
	防 火 広 報 車		ホンダ	平成12年10月11日	
内 海 分 署	ポンプ5号車	消防ポンプ車CD-1	三 菱	平成 3年 8月29日	高圧ポンプ水槽800ℓ
	ポンプ6号車	消防ポンプ車CD-1	日 野	平成17年 3月23日	
	防災工作車3号車	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	平成 元年 9月12日	B-3積載
	救 急 3 号 車	高規格救急車 グランビア	トヨタ	平成15年 3月20日	
	救 急 4 号 車	高規格救急車 ハイエース	トヨタ	平成21年11月27日	
池 田 分 署	ポンプ3号車	消防ポンプ車CD-1	三 菱	平成18年 3月27日	水槽 700ℓ
	防災工作車2号車	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	平成 元年 9月12日	B-3積載

3. 主な機械器具の配置状況

平成 22 年 4 月 1 日現在

器 具 別		署 所 別				合 計
		本 署	内海分署	池田分署		
放 水 器 具	消防用ホース 65mm	84	78	82	244	
	消防用ホース 50mm	136	107	117	360	
	高 圧ホース 25mm	-	14	-	14	
	小型動力ポンプ B-3級	1	1	1	3	
	小型動力ポンプ C-1級	1	-	-	1	
	手引ホースカー	2	2	1	5	
	フォグガン	3	2	2	7	
	無反動ノズル	2	-	2	4	
	放水銃	2	1	1	4	
	集水器	6	3	3	12	
	低発砲ノズル 8000型	2	1	-	3	
	低発砲ノズル 4000型	2	1	-	3	
	低発砲ノズル 2000型	-	1	1	2	
	ユニット式プロポーションナー	2	1	-	3	
	ラインプロポーションナー	2	1	1	4	
	ピックアップ式泡ノズル	4	1	-	5	
	ウォーターチャージャー	-	-	1	1	
	背負式ポンプ	11	7	6	24	
	簡易水槽	1	-	-	1	
一般救助用器具	かぎ付はしご	2	1	-	3	
	三連はしご	2	1	1	4	
	救命索発射銃	2	1	1	4	
	サバイバースリング又は救助用縛帯	4	2	1	7	
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	1	1	1	3	
	油圧スプレッダー	1	1	-	2	
	可搬ウィンチ	2	1	1	4	
	マット型空気ジャッキ	2	1	1	4	
	大型油圧スプレッダー	1	1	-	2	
切 断 用 器 具	エンジンカッター	2	1	1	4	
	酸素溶断器	1	-	-	1	
	チェンソー	2	1	2	5	
	鉄線カッター	4	2	3	9	
	大型油圧切断機	1	1	-	2	
	空気切断機	1	2	1	4	
破 壊 用 器 具	万能斧	2	2	-	4	
	削岩機	1	-	-	1	
	ハンマードリル	3	1	-	4	
測 定 用 器 具	複合ガス検知器	1	1	-	2	

呼吸保護用器具	空気呼吸器	12	8	7	27
	予備ボンベ	4	4	5	13
	空気補充用ボンベ	2	-	-	2
	防塵マスク	26	18	10	54
	送排風機	1	-	-	1
隊員保護用器具	耐熱防護服	2	1	1	4
	耐電衣	3	-	-	3
	耐電ズボン	3	-	-	3
	耐電長靴	3	-	-	3
	耐電手袋	3	-	-	3
	防塵メガネ	26	18	10	54
水難救助用器具	救命胴衣	24	14	11	49
	救命浮環	6	2	2	10
	救命ボート	3	3	2	8
	船外機	1	-	-	1
山岳救助用器具	バスケット型担架	2	1	1	4
その他の救助用器具	投光器	6	3	4	13
	携帯拡声器	8	1	2	11
	応急処置用セット	2	-	-	2
	緩降機	1	-	-	1
	発電機	5	2	1	8
その他の器具	オイルフェンス	2	-	-	2
	空気充填機	1	-	-	1
	モッコ	1	-	-	1
救急器具	気道確保用資機材一式	2	2	-	4
	自動体外式除細動器	2	2	1	5
	自動式心臓蘇生装置	1	1	-	2
	ショックパンツ	3	2	-	5
	輸液用資機材一式	1	1	-	2
	患者監視装置	3	2	-	5
	E O G 方式滅菌器	1	1	-	2
	殺菌消毒スタンド	1	1	-	2
	全脊柱固定具	3	3	-	6

4. 消火薬剤の備蓄状況

平成 22 年 4 月 1 日現在

薬剤種別	署 所 別			
	本 署	内海分署	池田分署	合 計
化学消火薬剤 たん白系 3 % 型	10200	7600	8000	2,5800

5. 消防水利の状況

平成 22 年 4 月 1 日現在

種 別		町 別		土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
防 火 水 槽	40 m ³ 以 上	公 設		52	94	146
		私 設		-	-	-
	40 m ³ 未 満	公 設		7	1	8
		私 設		2	-	2
消 火 栓	100 mm 以 上	公 設		200	228	428
		私 設		-	-	-
	100 mm 未 満	公 設		427	264	691
		私 設		-	-	-
そ の 他	プ ー ル			8	11	19
	池			40	44	84
	海			40	58	98
	井 戸			11	17	28
合 計				787	717	1,504

6. 警防関係届出事務処理状況

平成 21 年 1 月 1 日～12 月 31 日

種 別		署 所 別			
		本 署	内 海 分 署	池 田 分 署	合 計
消防活動に支障をおよぼす 恐れのある道路占用届出		22	38	11	71

7. 災害別出動状況

平成 21 年 1 月 1 日～12 月 31 日

種別 区分	火 災		救 助		風水害等 の 災 害		誤 報 等		そ の 他		合 計	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
災害件数	21 件		6 件		3 件		1 件		19 件		50 件	
本 署	7	48	2	12	0	0	0	0	8	57	17	117
内 海 分 署	8	50	3	19	3	11	0	0	9	31	23	111
池 田 分 署	9	35	1	7	0	0	1	3	2	7	13	52
合 計	24	133	6	38	3	11	1	3	19	95	53	280

8. 救急法指導状況

(1) 普通救命講習実施状況

平成21年1月1日～12月31日

月 日	対 象 団 体	対象人員	指導人員
5月11日	リベラルサンシャイン 介護職員	12	2
6月26日	かどや製油(株) 従業員	10	2
7月 1日	小豆島総合開発(株)	4	1
9月13日	「救急の日」一般公募者	14	3
9月26日	土庄保育園 職員	13	3
10月31日	土庄町公民館 小豆郡ジュニアリーダー	9	2
11月17日	四海漁業協同組合 救難所員	21	4
11月24日	〃	20	4
12月 1日	〃	11	4
12月 4日	DaNoi 遊雅 職員及び自治会員	15	3
12月 8日	四海漁業協同組合 救難所員及び婦人部	10	2
12月15日	小豆島海上保安署及び香川県水難救済会 会員	5	1
合 計		144	31

(2) 救急法講習会実施状況

平成21年1月1日～12月31日

月 日	対 象 団 体	対象人員	指導人員
1月17日	池田北地地区住民	28	2
1月28日	ホットハートサポーター・土庄町健康増進課職員	18	4
2月15日	スポーツ少年団認定員	20	4
3月 1日	小豆地区婦人防火クラブ	17	5
3月30日	NOSA I 小豆島女性の会	25	2
4月18日	赤穂屋婦人会	39	4
4月19日	土庄町婦人会本町支部員	34	7
4月22日	福田地区自治会・婦人会	20	2
5月31日	小豆島大観音奉賛会	25	1
6月 9日	土庄高校2年 生活福祉系「家庭看護・福祉」選択者	18	4
6月10日	北浦幼児園保護者・職員	18	2
6月11日	土庄高校2年 生活福祉系「家庭看護・福祉」選択者	15	4
6月14日	湊崎小学校保護者・職員	40	4
6月16日	北浦小学校保護者・職員	25	2
6月24日	土庄中学校教員	23	2
6月25日	池田小学校教員・保護者	50	2
6月27日	四海小学校保護者・児童	86	3
6月29日	土庄小学校職員・保護者	60	4
7月 2日	幼稚園職員・プール監視員・一般希望者	23	2
7月 5日	福田地区小学生保護者	17	2
7月 8日	湊崎幼稚園 園児父兄	48	4
7月15日	ふるさと村職員・プール監視員	24	2
7月20日	〃	16	2
9月 6日	北浦地区自治会員	70	4
10月11日	上地地区自治会員	43	5
10月27日	乳幼児をもつ母親及び子育て支援センター職員	13	4

10月28日	小豆島町役場保健事業課 保健師等	10	2
11月6日	草壁明老クラブ員	20	1
11月26日	土庄町役場職員	10	1
12月2日	小豆島高校教職員	34	4
合計		889	91

(3) 「いのちの先生」実施状況

平成21年1月1日～12月31日

月日	対象団体	対象人員	指導人員
1月20日	苗羽小学校 3年生児童・教諭	29	1
9月27日	池田小学校 2、3年生児童・教諭・保護者	93	1
10月20日	星城小学校 全校生徒・教諭・保護者	228	1
12月2日	豊島小、中学校 全校生徒・教諭・保護者	45	1
合計		395	4

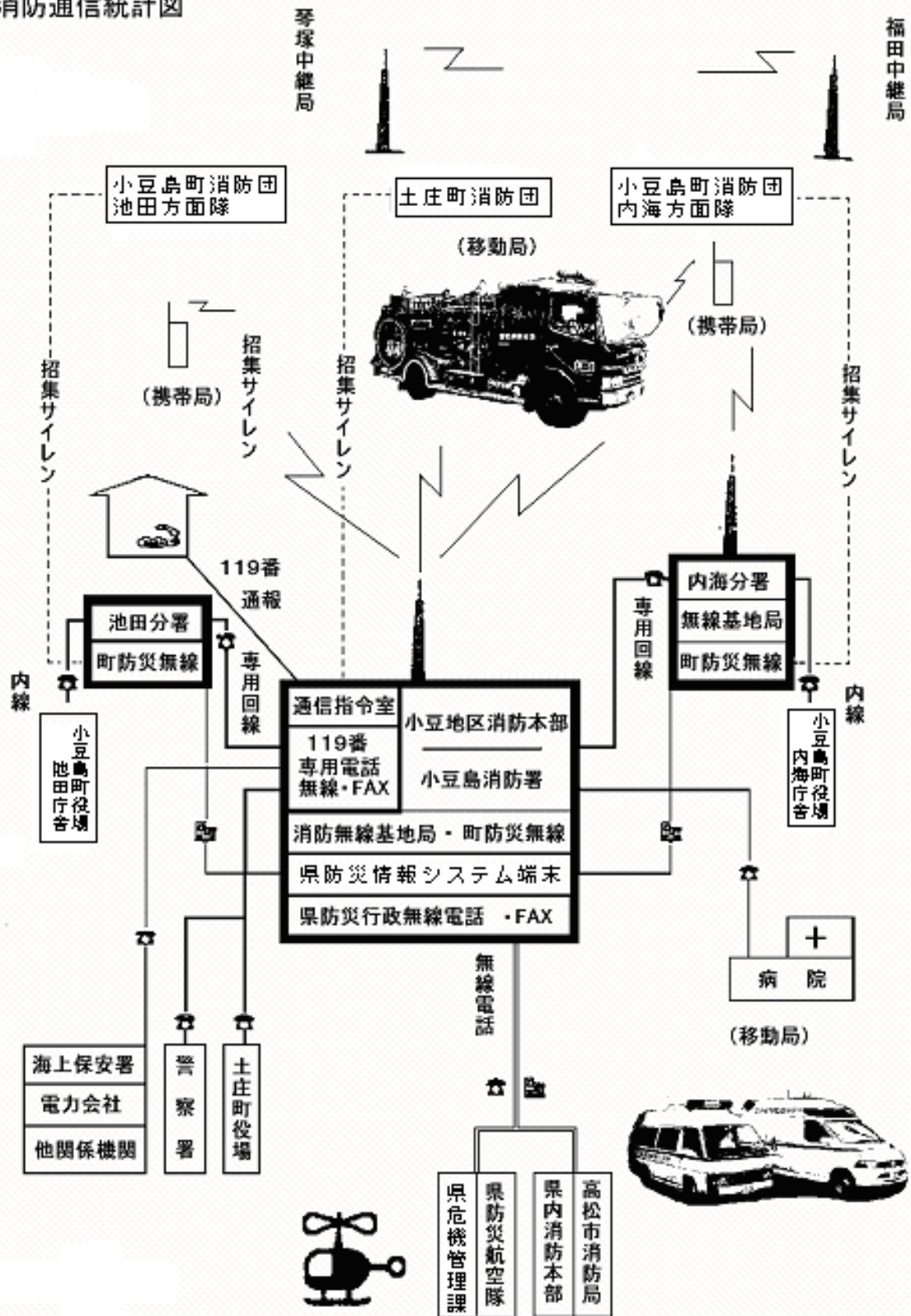
通信指令室

通 信 指 令 室

市街地等の都市構造の変化や、高齢化社会の進展に伴い、災害及び救急発生件数は年々増加し、災害態様は複雑多様化、大規模広域化の傾向にあります。

通信に於いては、災害情報を迅速かつ正確に把握し、消防及び救急活動の初動体制を強化するため、平成12年4月から「消防緊急通信指令システム」を導入により情報収集処理技術の高度化が図られています。

1.消防通信統計図



2. 通信施設状況

小豆島消防署

平成 22 年 4 月 1 日現在

設置場所	局種	呼出名称	出力	市町村波	県内波	全国波1	全国波2	全国波3	流対協波	購入年月日
通信指令室	基地局	しょうずしょうぼう	10w		○	○	○	○		平成 8 年 3 月 1 9 日
〃	固定局	〃	5w	○						昭和 5 3 年 3 月 3 1 日
〃	基地局	〃	10w	○						昭和 5 9 年 3 月 3 1 日
琴塚いこいの家	〃	しょうずしょうぼうことづか	〃	○						昭和 5 3 年 3 月 3 1 日
〃	〃	〃	5w	○						〃
ポンプ 1 号車	移動局	しょうずしょうぼう 1	10w	○	○	○	○	○		平成 1 0 年 3 月 1 1 日
タンク車	〃	〃 2	〃	○	○	○	○	○		平成 6 年 1 月 7 日
救助工作車	〃	〃 3	〃	○	○	○	○	○		平成 1 6 年 3 月 1 9 日
防災工作車 1 号車	〃	〃 4	〃	○	○	○	○	○		平成 3 年 3 月 1 日
指揮車	〃	〃 5	〃	○	○	○	○	○		〃
防火広報車	〃	〃 7	〃	○						昭和 5 9 年 2 月 2 9 日
査察広報車	〃	〃 8	〃	○	○	○	○	○		昭和 5 7 年 2 月 2 3 日
指揮車	〃	〃 10	〃	○	○	○	○	○		昭和 6 3 年 1 月 6 日
はしご車	〃	〃 11	〃	○	○	○	○	○		平成 6 年 1 2 月 6 日
高規格救急車	〃	しょうずきゅうきゅう 1	〃	○	○	○	○	○		平成 1 1 年 3 月 1 7 日
高規格救急車	〃	〃 2	〃	○	○	○	○	○		平成 9 年 1 2 月 3 日
	携帯局	しょうずしょうぼう 101	1w	○	○	○	○	○		平成 1 1 年 3 月 1 7 日
	〃	〃 102	〃	○	○	○	○	○		〃
	〃	〃 103	〃	○	○					平成 1 5 年 9 月 1 1 日
	〃	〃 104	〃	○	○	○	○	○		平成 1 0 年 3 月 2 0 日
	〃	〃 105	〃	○	○	○	○	○		〃
	〃	〃 106	〃	○	○	○	○	○		〃
	〃	〃 107	〃	○	○	○	○			平成 1 6 年 9 月 6 日
	〃	〃 108	〃	○	○	○	○			昭和 5 2 年 3 月 2 9 日
	〃	〃 109	〃	○	○	○	○			昭和 5 4 年 3 月 2 8 日
	〃	〃 110	〃	○	○	○	○	○	○	平成 元年 2 月 1 0 日
	〃	〃 111	〃	○	○	○	○			昭和 6 3 年 1 月 6 日
	〃	〃 112	〃	○	○	○	○			昭和 5 7 年 2 月 2 3 日
	〃	〃 113	〃	○	○	○	○	○		平成 7 年 1 月 2 9 日
	〃	〃 114	〃	○	○	○	○	○		〃

内海分署

平成 22 年 4 月 1 日現在

設置場所	局種	呼出名称	出力	市町村波	県内波	全国波 1	全国波 2	全国波 3	流対協波	購入年月日
通 信 室	基地局	しょうずしょうぼううちのみ	10w	○						昭和 6 1 年 3 月 1 2 日
福田消防屯所	〃	しょうずしょうぼうふくだ	5w	○						昭和 5 4 年 3 月 2 3 日
通 信 室	固定局	しょうずしょうぼううちのみ	〃	○						〃
福田消防屯所	〃	しょうずしょうぼうふくだ	〃	○						〃
ポンプ 6 号車	移動局	しょうずしょうぼう 5 1	10w	○	○	○	○	○		平成 1 7 年 3 月 2 5 日
ポンプ 5 号車	〃	〃 5 2	〃	○	○	○	○	○		平成 4 年 2 月 1 0 日
防災工作車 3 号車	〃	〃 5 3	〃	○	○	○	○	○		昭和 6 1 年 2 月 4 日
〃	〃	〃 5 4	〃	○	○	○				昭和 5 2 年 1 月 1 9 日
高規格救急車	〃	しょうずきゅうきゅう 3	〃	○	○	○	○	○		平成 1 2 年 3 月 2 9 日
高規格救急車	〃	〃 4	〃	○	○	○	○	○		平成 元年 1 月 2 3 日
	携帯局	しょうずしょうぼう 7 1	〃	○	○	○	○	○		平成 8 年 3 月 1 9 日
	〃	〃 5 0 1	1w	○	○	○	○	○		平成 1 5 年 9 月 1 1 日
	〃	〃 5 0 2	〃	○	○	○	○	○		平成 1 3 年 1 2 月 6 日
	〃	〃 5 0 3	〃	○	○	○	○	○		平成 1 8 年 8 月 2 3 日
	〃	〃 5 0 4	〃	○	○	○	○	○		平成 1 9 年 9 月 4 日
	〃	〃 5 0 5	〃	○	○	○	○			昭和 5 6 年 3 月 1 1 日
	〃	〃 5 0 6	〃	○	○	○	○			〃
	〃	〃 5 0 7	〃	○	○	○	○			昭和 5 7 年 2 月 2 3 日

池田分署

平成 22 年 4 月 1 日現在

設置場所	局種	呼出名称	出力	市町村波	県内波	全国波 1	全国波 2	全国波 3	流対協波	購入年月日
ポンプ 3 号車	移動局	しょうずしょうぼう 3 1	10w	○	○	○	○	○		平成 1 8 年 3 月 2 8 日
団本軽四車	〃	〃 3 2	〃	○	○	○	○	○		昭和 6 0 年 2 月 1 2 日
防災工作車 2 号車	〃	〃 3 3	〃	○	○	○	○	○		昭和 6 2 年 3 月 1 8 日
	携帯局	〃 7 2	〃	○	○	○	○	○		平成 8 年 3 月 1 9 日
	〃	〃 3 0 1	1w	○	○	○	○	○		平成 1 1 年 3 月 1 7 日
	〃	〃 3 0 2	〃	○	○	○	○	○		〃
	〃	〃 3 0 3	〃	○	○	○	○			昭和 5 2 年 3 月 2 9 日
	〃	〃 3 0 4	〃	○	○	○	○	○		平成 1 5 年 9 月 1 1 日
	〃	〃 3 0 5	〃	○	○	○	○	○		平成 9 年 3 月 1 9 日

3. 119番受信状況

平成21年1月1日～12月31日

区分 月別	火災	救急	救助	問い合わせ	試験	悪戯	間違い	その他	合計
	1月	1	67		17	3	2	12	21
2月	4	66		15	7		2	22	116
3月	2	69		17	14	3	6	22	133
4月	2	63		17	4		6	25	117
5月	1	68	1	18	8	2	1	15	114
6月	3	71	3	17	17		3	14	128
7月	1	70	2	12	53	3	10	25	176
8月		85		27	7		4	24	147
9月	2	77	1	21	64		7	10	182
10月	1	77	4	18	7	3	4	11	125
11月		72	2	18	10		11	22	135
12月	4	94		21	9	7	3	33	171
合計	21	879	13	218	203	20	69	244	1,667

4. 気象状況（観測地：消防本部）

平成21年1月1日～12月31日

区分 月別	天気日数				気温(℃)		湿度(%)		最多風向	平均風速(m/s)	降雨日数	降雨量(mm)
	晴	曇	雨	雪	最高	最低	最高	最低				
1月	13	14	4	—	14.5	-1.0	98	37	W	2.7	7	50
2月	13	8	7	—	18.0	0.5	98	49	W	2.2	8	83
3月	17	11	3	—	20.5	1.0	97	29	W	2.5	5	53
4月	22	4	4	—	24.0	3.0	98	21	E	2.3	5	61
5月	14	14	3	—	26.5	10.5	90	21	E	1.8	7	35
6月	18	10	2	—	31.0	13.5	90	31	E	2.0	6	61
7月	11	15	5	—	31.5	20.0	95	49	E	1.6	12	179
8月	18	12	1	—	33.5	19.0	90	44	E	2.3	4	176
9月	13	15	2	—	30.5	15.7	93	39	E	1.7	2	24
10月	13	16	2	—	26.5	11.0	97	10	W	2.2	6	57
11月	14	12	4	—	22.5	5.0	98	45	W	2.1	9	99
12月	17	11	3	—	18.0	1.0	97	40	W	2.7	4	18
合計	183	142	40	—	33.5	-1.0	98	10	W	2.2	75	896

- ・天気日数、最高気温、湿度、最多風向、平均風速は17時の観測値
- ・最低気温は10時の観測値

5. 気象情報受理状況

平成21年1月1日～12月31日

種 別	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
注 意 報 関 係	大雨注意報						1	4	2		2			9
	洪水注意報						1	4	3		1			9
	強風注意報	8	3	1	3	2	1	1	1		2	4	7	33
	波浪注意報	7	3	1	3	2	1	1	1		2	4	6	31
	濃霧注意報		1				3	1	3				1	9
	霧注意報													
	雷注意報	1		2	2	2	4	9	7	6	3	2		38
	高潮注意報						1	1	2					4
	津波注意報													
	乾燥注意報	6	3	4	5	5	3			2	1		4	33
	大雪注意報													
	大雪電線着雪注意報													
	霜注意報			13	3									16
	風雪注意報	4											2	6
小計	26	10	21	16	14	13	23	16	8	11	10	20	188	
警 報 関 係	大雨警報							1	1		1			3
	洪水警報								2		1			3
	強風警報													
	暴風警報										1			1
	波浪警報										1			1
	高潮警報													
	大雪警報													
	津波警報													
小計							1	3		4			8	
気 象 情 報 関 係	大雨		3		3	4	4	19	10		5	7	2	57
	小雨						2			1				3
	強風	1	3	1	3	2					1	5	3	19
	大雪	8											5	13
	雪	5											6	11
	雷				1	7	10	15	8		5	7	2	55
	高波	5	4	3	3	4					1	5	7	32
	低気圧													
	台風								14		15			29
	強い冬型の気圧配置													
	梅雨の時期(四国地方)													
	地震	8	15	5	4	6	8	11	8	11	5	5	33	119
	各地の震度	5	5	1	2	2	3	4	3	4	2	3	2	36
	津波	18	1	1						4	1		1	26
その他の気象に関する情報		2	5	1	8	12	15	13		8	7	3	74	
小計	50	33	16	17	33	39	64	60	17	42	39	64	474	
火災気象通報	7	4	7	7						3		10	38	
合計	83	47	44	40	47	52	88	79	25	60	49	94	708	

火災統計

火 災 統 計

1. 火災発生状況

区 分		町 別		小 豆 島 町				合 計		
		土 庄 町		内 海 方 面		池 田 方 面		21 年	20 年	
		21 年	20 年	21 年	20 年	21 年	20 年			
全 火 災	件 数	8	6	8	8	5	1	21	15	
	損害額 千円	10,583	3,182	40,688	816	562	30	51,833	4,028	
火 災 種 別	建 物	件 数	6	4	5	4	2	1	13	9
		焼損床面積 m ²	206	214	1,885	86	65	0	2,156	300
		焼損表面積 m ²	1	0	2	4		0	3	4
		損害額 千円	10,583	3,182	40,688	616	560	30	51,831	3,828
	林 野	件 数		1		0		0		1
		焼損面積 a		12		0		0		12
		損害額 千円		0		0		0		0
	車 両	件 数		0		1		0		1
		損害額 千円		0		150		0		150
	船 舶	件 数		0		0		0		0
		損害額 千円		0		0		0		0
	航空機	件 数		0		0		0		0
		損害額 千円		0		0		0		0
	その他	件 数	2	1	3	3	3	0	8	4
		焼損面積 a	2	2	1	4	14	0	17	6
損害額 千円			0		50	2	0	2	50	
り 災 世 帯 数		3	2	4	1	3	1	10	4	
り 災 者 数 (人)		6	3	10	1	6	4	22	8	
死 者 (人)			0		0		0		0	
負 傷 者 (人)			1		0	1	0	1	1	
出火率(1万人あたり)(件)		5.2	3.82	※8.0	6.75	※8.0	1.93	6.6	4.58	

※小豆島町の出火率は両方面合計したものとす。

2. 時間別火災状況

区分 時間別	火災 件数	火災種別						焼損面積					損害額 (千円)	
		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	建物		林野 ^a	その他 ^a	船舶		航空機
								床面積 m ²	表面積 m ²					
0時～1時														
1～2	1	1						417						10,954
2～3														
3～4	1						1				1			
4～5	1						1							
5～6														
6～7														
7～8														
8～9														
9～10														
10～11	3	1					2	62			4			553
11～12	2	1					1	63			1			6,572
12～13	1	1						2						147
13～14	1						1				10			
14～15	2	2						15						190
15～16	2	1					1	129						3,673
16～17	1						1				1			
17～18														
18～19														
19～20	2	2							2					13
20～21	1	1						83						2,002
21～22	1	1							1					4
22～23														
23～24	1	1						1,384						27,668
不明	1	1						1						57
合計	21	13					8	2,156	3		17			51,833

3. 月・曜日別火災状況

月別 曜日別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	損害額 (千円)
月		3											3	2,011
火						1							1	551
水					1				1				2	181
木			2	1			1			1		2	7	3,826
金		1											1	6
土				1		2			1			1	5	11,018
日	1											1	2	34,240
不明														
合計	1	4	2	2	1	3	1		2	1		4	21	51,833

4. 覚知別火災状況

覚知別 署所別	119	加入電話	駆け付け	事後覚知	その他	計	損害額 (千円)
	本署	5	1		2		8
内海分署	6			2		8	40,688
池田分署	4	1				5	562
合計	15	2		4		21	51,833

5. 原因別火災状況

区分 原因別	火災 件数	火災種別						焼損面積				損害額 (千円)
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	建 物		林 野 ^a	そ の 他 ^a	
								床面積 m ²	表面積 m ²			
ガスコンロ	2	2						3	1			13
不明	12	5				7	1,813	2			13	38,816
ストーブ	2	2					146					8,574
電気器具	2	2					3					204
ごみ焼却炉の火の粉	1	1					129					3,673
風呂かまど	1	1					62					551
枯れ草焼き	1					1					4	2
放火												
バーナー												
その他												
合計	21	13				8	2,156	3			17	51,833

6. 建物火災用途別火災状況（月別）

月別 用途別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	床面積 m ²	表面積 m ²	損害額 (千円)
	住宅	1	2				2						1	6	214	
クラブ																
店舗		1					1						2		1	10
旅館												1	1	1,384		27,668
物置																
共同住宅				1									1		2	7
住宅・倉庫																
納屋																
診療所																
その他の建築物									1				1	417		10,954
倉庫					1							1	2	141		3,854
合計	1	3		1	1	2	1		1			3	13	2,156	3	51,831

7. 過去10ヶ年火災状況

年別	火 災 件 数				損 害 額 (千円)			
	土庄町	小豆島町		計	土庄町	小豆島町		計
		内海方面	池田方面			内海方面	池田方面	
平成12年	9	6	5	20	1,402	1,371	77	2,850
平成13年	8	6	4	18	22,886	595	1,965	25,446
平成14年	7	6	2	15	932	253	39	1,224
平成15年	8	7	6	21	877	27,575	365	28,817
平成16年	7	7	3	17	28,767	3,674	489	32,930
平成17年	10	11	3	24	71,086	5,199	4,225	80,510
平成18年	12	3	0	15	6,564	92	0	6,656
平成19年	9	12	3	24	30,765	24,258	125	55,148
平成20年	6	8	1	15	3,182	816	30	4,028
平成21年	8	8	5	21	10,583	40,688	562	51,833
合 計	84	74	32	190	177,044	104,521	7,877	289,442

救急統計



救 急 統 計

1. 事故別、救急出場状況

平成 21 年 1 月 1 日～12 月 31 日

事 故 別	月 別												合 計	
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月		
出 場 件 数	115	89	100	106	83	96	104	114	99	106	91	113	1,216	
搬 送 人 員	101	79	94	97	78	91	95	110	93	104	88	110	1,140	
火 災	出場件数													
	搬送人員													
自然災害	出場件数													
	搬送人員													
水 難	出場件数					1	2	1					4	
	搬送人員					2	2	1					5	
交 通	出場件数	2	4	7	8	9	13	10	5	12	13	5	7	95
	搬送人員	2	4	11	10	11	14	11	5	16	14	5	8	111
労働災害	出場件数	1	1		2		1	1	1	1	1	1	2	12
	搬送人員	1	1		2		1	1	1	1	1	1	2	12
運動競技	出場件数			1		1			1				3	
	搬送人員			1		1			1				3	
一般負傷	出場件数	19	11	9	16	9	12	18	22	14	15	18	181	
	搬送人員	17	10	8	16	9	12	17	22	13	15	18	174	
加 害	出場件数			2									2	
	搬送人員			2									2	
自損行為	出場件数	1	1		4	1	1	1		1			2	12
	搬送人員		1		2	1	1	1				2	8	
急 病	出場件数	71	62	60	59	50	42	55	66	53	54	56	60	688
	搬送人員	65	56	56	53	44	39	49	62	46	51	53	58	632
そ の 他	出場件数	21	10	21	17	13	26	17	18	18	23	11	24	219
	搬送人員	16	7	16	14	12	22	14	18	17	23	11	23	193

2. 覚知別救急出場状況

覚 知 別	1 1 9 番	一般加入	警察電話	駆け付け	そ の 他	計
救 急 件 数	907	287	14	5	3	1,216

3. 医療機関等収容可能状況照会回数（救急出場時）

照会回数	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目	6 回目 以 上	計
搬送人員	1,116	15	8	1			1,140

4. 時間別出場状況

時間別 事故別	時間別												計
	0～	2～	4～	6～	8～	10～	12～	14～	16～	18～	20～	22～	
急病	39	29	24	61	92	80	68	69	63	63	56	44	688
交通事故	1		3	8	5	18	17	12	12	10	8	1	95
一般負傷	3	2	5	9	29	29	22	23	18	17	15	9	181
転院搬送	3	3	1	5	26	39	33	27	26	17	7	5	192
その他	2	1	5	2	10	7	8	12	8	3	1	1	60
合計	48	35	38	85	162	173	148	143	127	110	87	60	1,216

5. 曜日別救急出場件数

曜日別	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	合計
救急件数	191	171	170	212	159	159	154	1,216

6. 救急隊員の行った応急処置件数

処置別	事故別				合計
	急病	交通	一般負傷	その他	
応急処置対象人員	629	104	171	201	1,105
止血	1	9	14	2	26
固定	10	68	63	18	159
人工呼吸	1			1	2
心マッサージ					
心肺蘇生	39	3	4	5	51
酸素吸入	211	20	14	101	346
気道確保	65	4	7	10	86
保温	126	16	22	40	204
被覆	1	36	38	10	85
在宅療法継続	4				4
ショックパンツによる血圧保持					
除細動	2			1	3
静脈路確保	6				6
その他の応急処置	222	6	19	32	279
血圧測定	578	89	153	159	979
心音・呼吸音等の聴取	156	29	21	15	221
血中酸素飽和度の測定	584	92	157	179	1,012
心電図	406	29	43	89	567

7. 現場到着所要時間別出場状況

事故別	時間	3分以上		5分以上		10分以上		20分以上		計	平均所要時間(分)
	3分未満	5分未満	10分未満	20分未満	20分未満	20分未満	20分未満				
急病	12	112	338	166	60	688	17.2				
交通	7	19	46	19	4	95	7.6				
一般負傷	1	31	75	51	23	181	10.0				
その他	40	128	56	24	4	252	5.2				
合計	60	290	515	260	91	1,216					

8. 収容所要時間別搬送人員

事故別	10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上		合計	
	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外
急病	1		164		209		233		21		4		632	
交通	1		33		40		34		3				111	
一般負傷			38		66		54		15		1		174	
その他	2		40		40		41		94	92	6	4	223	96
合計	4		275		355		362		133	92	11	4	1,140	96

9. 年齢区分別搬送人員

事故別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児											4	4
乳幼児			1	2			6			9	12	30
少年				12		1				7	6	26
成年			3	52	10	2	32	2	7	177	50	335
老人			1	45	2		136		1	439	121	745
合計			5	111	12	3	174	2	8	632	193	1,140

10. 発生場所別搬送人員

場所別 事故別	住 宅	公衆場所	仕 事 場	道 路	そ の 他	合 計
急 病	468	126	15	12	11	632
交 通	1	1		105	4	111
一 般 負 傷	96	30	1	25	22	174
そ の 他	7	200	8	4	4	223
合 計	572	357	24	146	41	1,140

11. 管轄外転院搬送件数

搬送種別 年 別	巡 視 艇	ヘリコプター	フェリー	海上タクシー (高速艇等)	合 計
平成15年	13	14	114	3	144
平成16年	16	9	116	6(1)	147
平成17年	9	14	132	23(4)	178
平成18年	5	14	143	15(2)	177
平成19年	7	20	106	13(2)	146
平成20年	3	17	109	15(1)	144
平成21年	0	38	98	17(3)	153

12. 傷病程度別搬送人員

事故別 傷病程度	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
死 亡				2			4		2	33	1	42
重 症			1	18	4	1	30	1	1	102	49	207
中 等 症			1	28	4		69		2	300	87	491
軽 症			2	63	4	2	71	1	3	197	2	345
そ の 他			1								54	55
合 計			5	111	12	3	174	2	8	632	193	1,140

13. 小豆2町、年別救急出場状況

町 別		年 別	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	10年間 合 計
土庄町	出場件数		540	539	566	562	621	714	704	594	620	577	6,037
	搬送人員		518	514	547	530	569	673	658	551	585	528	5,673
小豆島町	内海方面	出場件数	420	459	466	475	461	501	441	458	428	450	4,559
		搬送人員	403	433	435	447	439	484	434	455	408	433	4,371
	池田方面	出場件数	145	138	168	149	160	180	149	169	167	188	1,613
		搬送人員	147	129	158	144	161	178	149	160	158	178	1,562
郡 外	出場件数		2	1	0	5	5	3	2	2	1	1	22
	搬送人員		2	1	0	5	5	3	2	2	1	1	22
合 計	出場件数		1,107	1,137	1,200	1,191	1,247	1,398	1,296	1,223	1,216	1,216	12,231
	搬送人員		1,070	1,077	1,140	1,126	1,174	1,338	1,243	1,168	1,152	1,140	11,628

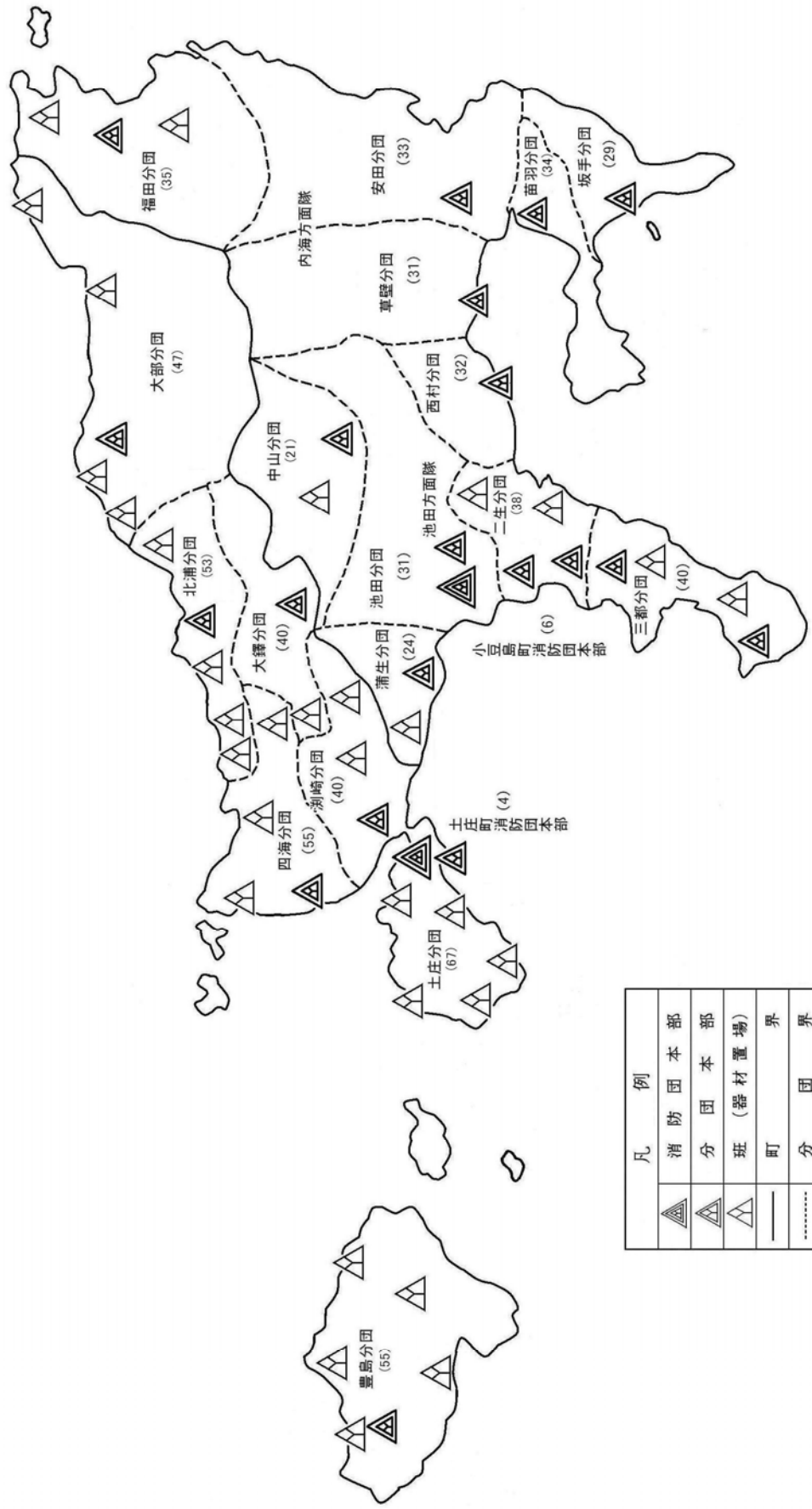
14. 過去10ヶ年の主な救急出場状況

町 別	年 別	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	合 計
急 病		628	621	720	673	662	770	724	703	671	688	6,860
交 通		120	139	126	112	101	102	91	85	107	95	1,078
一 般 負 傷		154	174	147	168	207	194	194	191	180	181	1,790
そ の 他		205	203	207	238	277	332	287	244	258	252	2,503
合 計		1,107	1,137	1,200	1,191	1,247	1,398	1,296	1,223	1,216	1,216	12,231

消防団



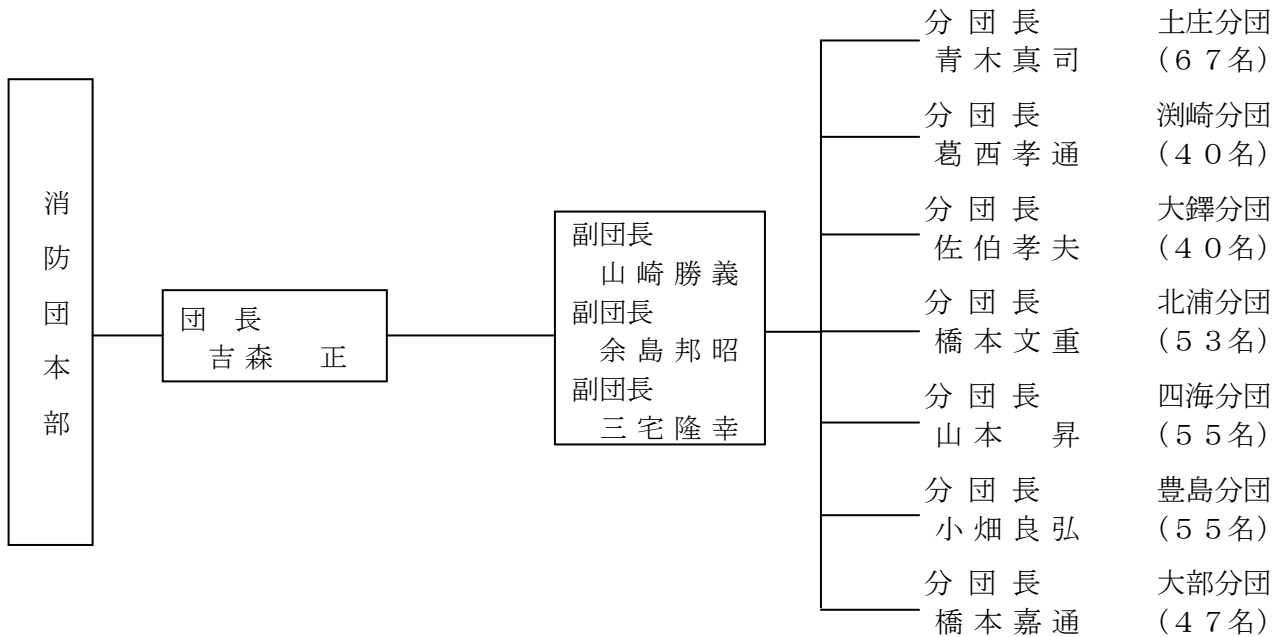
1.2 町消防団現勢分布図



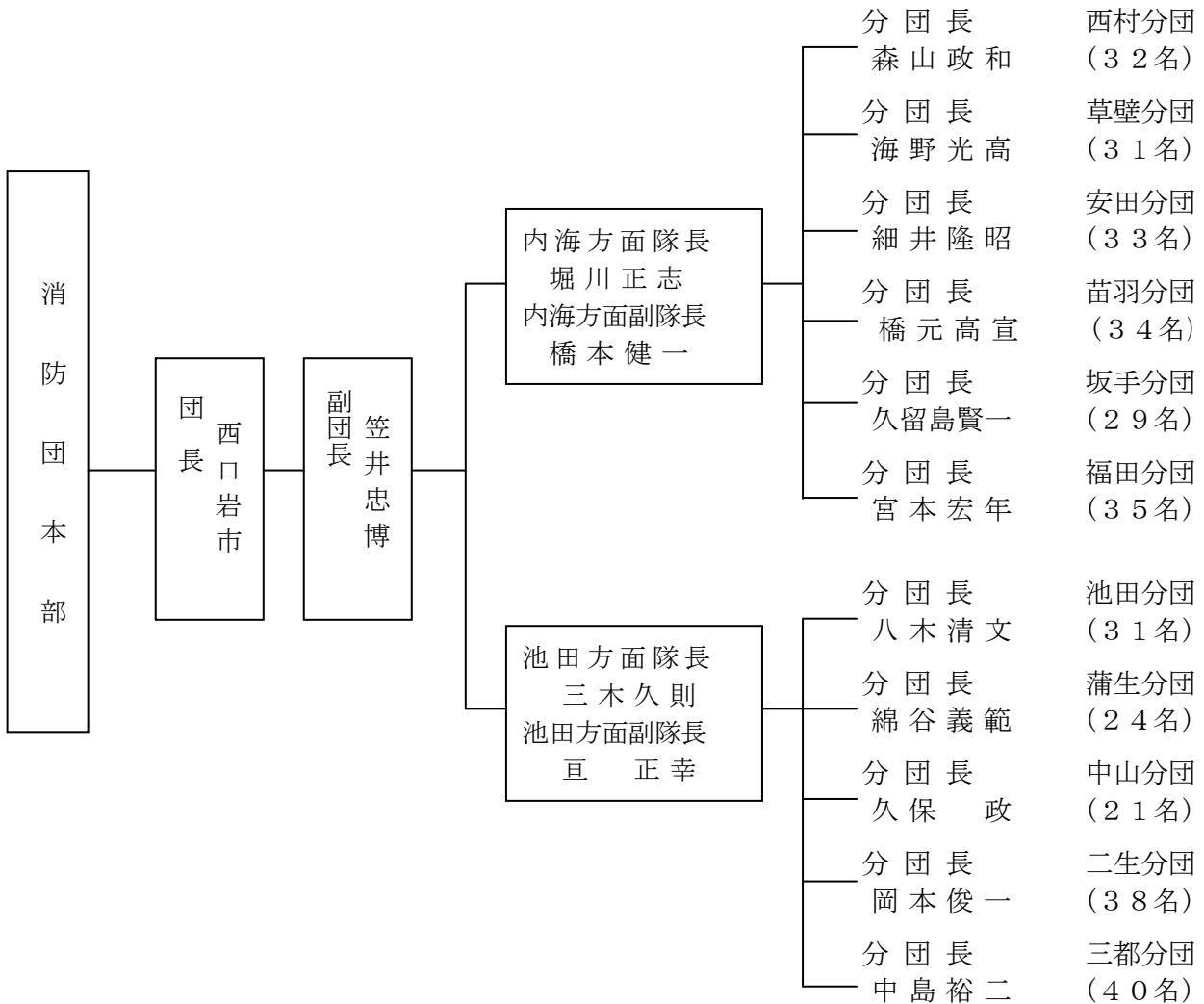
2. 消防団の組織、機構

平成 22 年 4 月 1 日現在

土庄町消防団



小豆島町消防団



3. 消防団員の勤務年数及び年齢

(勤務年数)

平成22年4月1日現在

年齢別 \ 団別	土庄町消防団	小豆島町消防団	合計
1年未満	13	12	25
1年～5年	80	72	152
5年～10年	89	62	151
10年～15年	91	67	158
15年～20年	35	55	90
20年～25年	34	40	74
25年～30年	9	37	46
30年～35年	5	6	11
35年以上	5	3	8
合計	361	354	715
平均勤続年数	10.6	12.6	11.6

(年齢)

平成22年4月1日現在

年齢別 \ 団別	土庄町消防団	小豆島町消防団	合計
18才～20才	1	0	1
21才～25才	9	7	16
26才～30才	48	58	106
31才～35才	106	63	169
36才～40才	70	75	145
41才～45才	62	53	115
46才～50才	41	60	101
51才～55才	16	26	42
56才～60才	5	10	15
60才以上	3	2	5
合計	361	354	715
平均年齢	37.9	39.4	38.7

4. 消防団員数及び装備状況

(団員数)

平成22年4月1日現在

階級別 \ 団別	団長	副団長	方面隊長	方面副隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
土庄町消防団	1	3			7	7	14	48	281	361
小豆島町消防団	1	1	2	2	11	13	13	56	255	354
合計	2	4	2	2	18	20	27	104	536	715

(装備状況)

平成22年4月1日現在

種別	ポンプ車	積載車	小型動力ポンプ	無線機
土庄町消防団	7	27	33	29
小豆島町消防団	3	21	19	68
合計	10	48	52	97

5. 町別消防車両等種別現況

平成22年4月1日現在

種別	年式	車名	ポンプ型式	馬力数	購入年月日	
土庄分団ポンプ車	A-2	S62	三菱	二段バランスタービン	110	62.9.8
湊崎分団	〃	H5	〃	〃	130	5.9.30
大鐸分団	〃	H15	イズブ	〃	〃	15.2.25
北浦分団	〃	H7	三菱	〃	〃	7.8.25
四海分団	〃	H9	〃	〃	〃	9.9.2
豊島分団	〃	H12	〃	〃	〃	12.9.25
大部分団	〃	H3	〃	〃	〃	3.10.22
団本部連絡車		H6	スズキ		28	6.5.23
指揮広報車		H4	トヨタ		105	4.8.5
団本部積載車		H7	日産		98	7.12.26
土庄分団積載車		H3	スズキ		30	3.6.25
〃		H2	〃		〃	2.3.20
〃		H元	〃		〃	元.11.29
〃		S63	〃		28	63.7.11
〃		S62	ダイハツ		〃	62.5.28
大鐸分団積載車		H10	三菱		30	10.4.6
〃		H13	〃		〃	13.11.5
〃		H18	ダイハツ		33	18.2.13
北浦分団積載車		H4	ホンダ		38	4.4.28
〃		H3	〃		〃	3.11.7
〃		〃	〃		〃	〃
〃		H8	三菱		30	8.11.11
四海分団積載車		H4	ホンダ		38	4.2.27
〃		〃	〃		〃	4.4.28
〃		H9	〃		〃	9.3.12
豊島分団積載車		H2	三菱		30	2.11.16
〃		H元	〃		〃	元.5.26
〃		S63	〃		〃	63.7.1
〃		〃	〃		〃	〃
〃		H18	〃		35	18.2.15
〃		H18	ホンダ		46	18.7.20
大部分団積載車		H6	三菱		30	6.6.17
〃		〃	〃		〃	〃
〃		S63	〃		〃	63.11.27
〃		H6	スズキ		26	6.6.17
〃		〃	ダイハツ		28	〃

小豆島町消防団内海方面隊	福田分団 ポンプ車	A-2	H 2	三 菱	二段バランスタービン	120	2. 1 1. 2 2
	坂手分団 "	"	H元	"	"	"	元. 9. 2 6
	団本部 積載車		H 8	トヨタ		105	8. 1 0. 2 3
	西村分団 積載車		H19	三 菱		110	1 9. 3. 1 9
	" 軽四積載車		S62	スズキ		28	6 2. 1 1. 2 7
	草壁分団 積載車		H19	日 産		98	1 9. 2. 1 9
	"		H 4	トヨタ		105	4. 8. 2 8
	安田分団 積載車		H12	三 菱		105	1 2. 8. 2 9
	" 軽四積載車		H 7	スズキ		42	7. 7. 2 4
	苗羽分団 積載車		H22	イスズ		110	2 2. 3. 2 6
	" 人員搬送車		H 9	日 産		98	9. 9. 1 8
	坂手分団軽四積載車		H 8	スズキ		"	8. 9. 2 7
	福田分団軽四積載車		"	"		"	8. 3. 1 8
	"		H12	"		49	1 2. 1 1. 9
	"		"	"		"	1 2. 1 1. 1 0
小豆島町消防団池田方面隊	池田分団 ポンプ車	A-2	H 7	三 菱	二段バランスタービン	110	7. 1 0. 1 2
	団本部 積載車		H 6	日 産		91	6. 1. 2 8
	団本部 軽四積載車		H 13	スバル		34	1 3. 4. 1
	蒲生分団 積載車		"	三 菱		94	1 3. 9. 4
	中山分団 積載車		H12	"		"	1 2. 2. 2 8
	二生分団 積載車		H15	"		"	1 5. 9. 3
	"		H10	トヨタ		91	1 0. 3. 1 0
	三都分団 積載車		H14	三 菱		94	1 4. 8. 2 0.
	"		H11	"		"	1 1. 3. 1 7

6. 消防団員報酬調

平成22年4月1日現在

階 級 団 別	団 長	副団長 (方面正副隊長含む)	分団長 (方面副隊長含む)	副分団長	部長	班長	団員
土庄町消防団	75,000	60,000	47,000	33,000	25,000	21,000	17,000
小豆島町消防団	75,000	60,000	47,000	33,000	25,000	21,000	17,000

7. 消防団員諸手当調

平成22年4月1日現在

区 分 団 別	水・火災出動 (1回あたり)	警 戒 出 動 (1回あたり)	訓 練 出 動 (1回あたり)
土庄町消防団	1,800	1,800	1,800
小豆島町消防団	1,800	1,800	1,800